

# 後援会

2026年 No.56 春  
発行日 2026年5月10日

# たより

大阪電気通信大学後援会  
<https://www.dentsukouenkai.com/>

三文の徳食堂 / 学生応援day / クラブ活動紹介  
なわてん卒業研究・卒業制作展

# 2026年度 前期 行事予定表

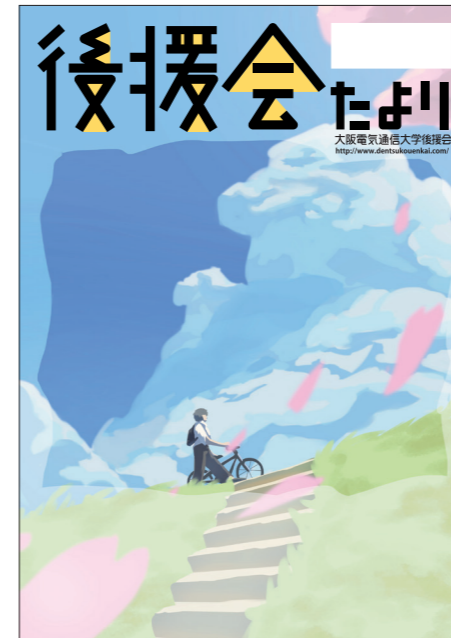
工学部 / 情報通信工学部 / 建築・デザイン学部  
健康情報学部 / 医療健康科学部 / 総合情報学部

大学院 (工学研究科 / 医療福祉工学研究科  
総合情報学研究科)

4月	2(木)	入学式
	3(金)・6(月)~10(金)	新入生オリエンテーション
	13(月)	前期授業開始
	25(土)	補講日
	29(水・祝)昭和の日	授業日
5月	10(日)	大学院入学試験
	19(火)~20(水)	6月期卒業再試験
	23(土)	補講日
6月	7(日)	オープンキャンパス
	9(火)	6月期学位授与者発表 [院・学部]
	13(土)	後援会総会
	19(金)	6月期学位授与式
	20(土)	補講日
7月	4(土)	補講日
	12(日)	オープンキャンパス
	15(水)	前期授業終了
	16(木)	補講日
	17(金)・21(火)~24(金)	前期定期試験
	26(日)	大学院入学試験
	31(金)・8/3(月)~4(火)	前期追試験
8月	2(日)	テクノフェア
	9(日)~17(月)	夏季一斉休業
	22(土)	オープンキャンパス
	25(火)~26(水)	蔵書点検 (図書館休館)
	26(水)~27(木)	成績発表
	28(金)~29(土)	9月期卒業再試験
9月	6(日)	オープンキャンパス
	7(月)	9月期学位授与者発表 [院・学部]
	12(土)	教育懇談会
	19(土)	大学祭準備
	20(日)~21(月)	大学祭
	25(金)	9月期学位授与式/ 9月期入学式 (院)
	28(月)	後期授業開始

# 後援会 たより No.56 Contents

- 後援会会長あいさつ  
P02 コミュニケーション  
大阪電気通信大学後援会 会長 十河 欣也
- 学長からごあいさつ  
P03 デジタルスキルで人生を切り拓き好きをスキルに  
大阪電気通信大学 学長 塩田 邦成
- お知らせ  
P04 2025 (令和7) 年度 活動報告
- P05 三文の徳食堂
- P06 キャリアセンターたより  
キャリアセンター部長 池山 尚高
- P10 学部別就職先リスト 2024-2025
- P16 資格学習支援センター
- 学務課たより  
P18 各種奨学金について
- P20 提携教育ローン「オリコ学費サポートプラン」
- P22 教育懇談会のお知らせ
- P23 ご入学おめでとうございます
- P24 なわフェス'25
- P26 建築学科合同卒業制作展
- P28 なわてん「後援会から副賞を贈呈」
- P39 後援会による学生応援企画!
- P40 テクノフェア in 新地町
- P42 父母の声
- P44 クラブ活動紹介
- P46 後援会たより表紙 2026 春・秋号決定!!  
応募作品のご紹介
- P48 大学への問い合わせ・キャンパス案内図
- P50 後援会規約
- P51 貸与奨学金運用規程
- P52 大学歌



## cover design

デジタルゲーム学科 4年次 笠井 斗輝央

## concept

作品のコンセプトは「春の風」です。

春は出会いと別れの季節です。初登校時のワクワク感と卒業後の寂しさを重ね、思いにふける姿を表現しました。

この冊子に写真を載せさせていただいた学生の方は後援会事務局までご連絡ください。薄謝を差し上げます。

## コミュニケーション



大阪電気通信大学後援会 会長 そごうきんや 十河 欣也

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。

そして後援会会員の皆様、並びに保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

ご入学されました新入生の皆さんは中学校生活ではコロナ禍の中、色々と制約の多い中での生活だったと思います。そして高校生活を過ごす頃にはコロナ禍も落ち着きはじめ勉強やクラブ活動にも頑張られ受験勉強にくじけそうになりながらも大学受験を乗り越えてご入学されたと思います。また、一人暮らしをスタートされ環境的にも大きな変化を迎える方もいらっしゃると思います。

ご家族の方々は皆さんを心から応援見守っておられますので大阪電気通信大学で更に夢や希望を持って充実したキャンパスライフを送っていただければ嬉しい限りです。

さて、後援会は保護者と大学の教職員が連携し、学生の皆さんの学びと成長を支えることを目的に活動しております。その活動は、部活動への活動援助金や各種学会発表の補助といった直接的な支援だけでなく、教育懇談会の開催支援、さらには学生生活を支える食の支援など多岐にわたっています。

例えば、両キャンパスの朝食支援『三文の徳食堂』では、朝食を1食100円で提供し、昼食支援として、『学生応援企画「カレーの日!!!」』として、「カレーライス(中サイズ)」を特別価格250円(2026年4月から228円予定)(税込)で提供するなど、学生の皆さんが少しでも安心して、日々の生活を送れるように取り組んでおります。こうした支援は、保護者として「しっかり食べて、元気に学んでほしい」と願う思いにもつながるものです。

他にも保護者の皆様が一番心配されておられる就職、進路についても大学が開催している「保護者のためのオンライン就活セミナー」への支援も行っております。近年の就職活動は私たち親世代の頃とは大きく様変わりしており、更にコロナ禍以降で就職事情は変わってきているようです。メディアの内定率何%などの記事をご覧になり焦りや不安に思われる事もあるのではないのでしょうか。大学のオンラインの就活セミナーなどを通じて保護者の方々も最新の就職事情を情報共有いただけたらと思います。

また、大学では春秋に教育懇談会を開催しております。大学のこと全般や、進路について不安に思われることなど保護者の皆様が気になっておられることについて直接知っていただける機会ですので、ぜひご参加いただければと思います。保護者の皆様におかれましては、本年度も引き続き、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社会人になりましたら、毎日のように「コミュニケーション」という言葉をよく耳にします。簡単なようで難しいこの「コミュニケーション」はビジネス社会では非常に重要な事柄です。私も社会に出て、営業職を30年以上続けておりますがとても大切にしております。

どの企業の人事担当者も「コミュニケーション能力」のありそうな学生を積極的に採用したいとお聞きしますので、本学に在籍されている学生の皆さんには是非今からでも「コミュニケーション」の取り方について深掘りし、能力向上を目指していただきたいです。

最後になりますが、大阪電気通信大学の益々の発展と、学生の皆様のご成長、後援会会員の皆様のご健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。

## デジタルスキルで人生を切り拓き 好きをスキルに



大阪電気通信大学 学長 塩田 邦成

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ご家族、新入生を支えていただいた全てのみなさまにも心よりお祝い申し上げます。

みなさまとともにこの良き日をお祝いできることを、大変うれしく思います。本学では、新入生のみなさんが安心して充実した学生生活を送れるよう、全教職員が一丸となって支援してまいります。どうぞ有意義な学生生活をお過ごしください。

本学は1961年の開学以来、時代の要請に応じた人材の育成に努めてきました。そして現在では約6万名の卒業生が社会の各分野で活躍しています。

社会動向が激変する現代にあっては、大学は社会の求める人材像に添って変化していくことが重要で、本学はこの数年間、大学改革や授業の改善に取り組んできました。今年度は総合情報学部を再編し、デジタルゲーム学科にデジタルゲーム専攻、ゲーム&メディア専攻、ゲーム・社会デザイン専攻を設置しました。時代のニーズに応じた教育を行うことが、学生のみなさんの将来を切り拓くことにつながる、ととらえています。

今後の社会のニーズを見通すことは難しいことですが、確実なことの一つに、情報化社会がますます進展することがあげられます。特にAIを活用した、技術、ビジネス、社会の開発が進むことは間違いのないことでしょう。こういう見通しの下、テレビのCMでご覧になったかと思いますが、本学は「デジタルスキルで人生を切り拓け」と若者にメッセージを送っています。学部の専門分野を問わず、情報化の波が押し寄せています。これからの学生には、デジタルスキルと専門分野を融合させ、深め、社会に役立っていく、そうした能力を身につけて欲しいと考えています。

本学が重視しているもう一つの教育の柱は、ものづくりです。正課の授業で実験、実習教育などを重視していますが、課外活動においても、ものづくり、学生の創意工夫あふれるプロジェクトを育成、支援しています。自由工房ではヒト型レスキューロボット、ソーラーカーなどのパートが大会を目指して取り組んでいます。デジタル分野においてもゲームジャム(ゲームづくりプロジェクト)、OECU eSportsなど、課外活動を推奨しています。やってみたいこと、好きなことを通じて学力や能力を身につける、「好きをスキルに」を応援していきます。

加えて最近重視している教育の一つに国際的素養の育成があります。ますます進む国際化への対応は、若い世代にとって不可欠になるはずです。留学プログラムを提供するとともに、留学生との多様な交流機会の拡大を進め、異文化理解や言語習得の機会になればと思います。

このように大学は多様な教育プログラムを提供し、将来への力を身につけて欲しいと考えていますが、学生のみなさんの意欲、悩みはさまざまです。本学では学生の学びや生活を支援するために、グループ担任制度を導入しています。3年次または4年次には卒業研究・卒業制作の担当教員が、お一人お一人に合わせた指導を行います。大学生活において取り組んでみたいこと、悩みなどがあれば、グループ担任や卒業研究・卒業制作指導教員、または各事務室の窓口へ、どうぞ気軽にご相談ください。また、年2回実施している教育懇談会の場もご活用ください。

学生生活は、長いようで過ぎ去ってみれば短いものです。学生のみなさんお一人お一人が勉学に励み、将来の姿を思い描きながら、充実した日々を過ごされ、さらに飛躍されますことを心より願っています。

# 2025(令和7)年度 活動報告

月 日	内 容	備 考
4.29	2024 年度会計監査	会計監査
4.29	後援会・友電会貸与奨学金委員会	① 2024 年度「後援会・友電会」拠出金及び貸与奨学金会計報告について ② 回収困難債権の対応状況について ③ その他
4.30	定期総会案内送付	会員 5,778 件
5.17	第 6 回役員会(ハイブリッド会議)	① 2024 年度事業報告及び決算報告について ② 2025 年度事業計画及び予算(案)について ③ 2025 年度新役員選出について ④ 後援会規約の一部改正(案)について 出席者 31 名
5.28	後援会たよりNo.54・学報No.348・キャンパスカレンダー送付	会員 5,790 件
6.21	総会	寝屋川キャンパス J 号館 302 教室 ① 2024 年度事業報告、決算報告および会計監査報告について ② 2025 年度事業計画および予算について ③ 2025 年度役員選出 出席者約 120 名
	講演会	「実経験をもって建築空間へ」 ～オランダ・デンマークを通して～ 建築・デザイン学部 建築・デザイン学科 空間デザイン専攻 梅原 悟教授 出席者約 150 名
	学科別懇親会	学科の先生方との懇親会(立食パーティー) 出席者約 150 名
7.5	第 1 回役員会(ハイブリッド会議)	① 総会・講演会・懇親会の報告 ② 2025 年度行事予定について ③ 後援会たより 2025 年秋号 (No.55) 発行について 出席者 31 名
8.2	第 2 回役員会(対面会議)	① 大学祭の取り組みについて ② キャンパス探訪について 出席者 31 名
9.10	後援会・友電会貸与奨学金委員会	応急奨学生 1 名採用
9.20	大学祭	喫茶、プラコースター作り、輪投げ、千本引き
10.4	第 3 回役員会(ハイブリッド会議)	① キャンパス探訪(10/13 祝授業日)について ② なわフェス(12/20)について ③ 大学祭の報告 出席者 32 名
10.13	施設見学・キャンパス内探訪	寝屋川・四條畷キャンパス対面授業の見学・取材撮影、及び Y 号館自由工房施設見学 参加者 15 名
11.27	後援会たよりNo.55・学園報 No.349 号・なわてん案内送付	会員 5,628 件
12.20	なわフェス 2025	プラコースター作り、輪投げ、千本引き
2026.1.10	第 4 回役員会(ハイブリッド会議)	① なわてんについて ② 三文の徳食堂の支援について ③ 業務委託契約の更新について 出席者 29 名
2.8	なわてん	後援会賞の選考
3.2	後援会・友電会貸与奨学金委員会	応急奨学生 1 名採用
3.14	第 5 回役員会(ハイブリッド会議)	① 2025 年度収支中間報告 ② 2026 年度事業計画(案)と総会までの予算執行について ③ 後援会たより 2026 年度春号、秋号表紙デザイン選考について ④ 2025 年度予算における後援会からの寄付について ⑤ 2026 年度カレーの日の支援について ⑥ 総会について 出席者 33 名

## 後援会が協力

朝の元気はここから  
三文の徳食堂

毎日ちがう！  
おいしい朝ごはんが  
“100円”

三文の徳食堂をご存じですか？  
学生にしっかり朝食をとってほしい。  
1限目からの講義に備えてほしい。  
規則正しい生活習慣を備えてほしいという意見のもと、  
後援会と大学が協力し実施しております。



授業日の朝 限定

8:30~9:30

日替わりメニュー例

コロッケ、からあげ、さばの塩焼き、白身フライ、  
スクランブルエッグ、ウインナー、豚の生姜焼きなど  
人気メニューが日替わりで登場

場所

J号館1階 食堂(寝屋川キャンパス)

6号館1階 食堂(四條畷キャンパス)

忙しい朝でも、温かい手作りのおかずでしっかりエネルギーチャージ

前期授業日 4/13~7/15

後期授業日 9/28~12/25

※ 祝日の授業日も営業



# キャリアセンターたより

キャリアセンター部長 池山 尚高



後援会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、2026年4月より大阪電気通信大学のキャリアセンター部長を拝命いたしました。

前職では関西にある大学にて就職支援室長を始め、学生支援業務や人事業務に携わっておりました。

今後は大阪電気通信大学の学生が社会人として力強くキャリアを切り拓いていけるよう、皆様とともに支援してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 【キャリアセンターへようこそ!】

1・2年生の学生の皆さんにとっては「キャリアセンター」と聞いてもまだ身近に感じることができないのではないのでしょうか。「3・4年生になってからインターンシップや就職活動の相談に行く場所」というイメージが強いかもしれませんが、実はキャリアセンターは、低学年次の皆さんにこそ積極的に活用していただきたい場所です。

私たちの役割は、単に「内定を得るためのテクニック」を伝えることではありません。大学生活という貴重な時間を通して、皆さんが「自分はどのように生きたいか」「社会でどんな役割を果たしたいか」を考え、自らの手で人生を切り拓いていく力を養うお手伝いをすることです。

大学生活では勉強はもちろん、部活動、サークル、アルバイト、ボランティア、あるいは趣味など、どんなことでも構いません。まずは興味を持ったことに一歩踏み出し、全力で取り組んでみてください。その過程で得られる成功体験や挫折、新たな発見のすべてが、皆さんを形作る大切な財産になります。

就職活動はまだ先のこのように思えるかもしれませんが、実際には3年生の6月頃から始まるインターンシップを皮切りに企業の採用活動が始まります。それまでに日々の何気ない挑戦や学びを積み上げ、自分自身を語れるようになっておくことが納得のいく進路選択へと繋がっていきます。

キャリアセンターでは、個別相談のほか、自分自身を深く知るための自己分析ワークショップやガイダンスなど、低年次から参加できるプログラムを用意しています。

「将来何がしたいかわからない」「大学生活をどう過ごせばいいか迷っている」といった漠然とした相談でも大歓迎です。いつでも気軽にキャリアセンターに立ち寄ってください。皆さんの学生生活が豊かで実り多いものになるよう、スタッフ一同、全力でサポートしていきます。



四條畷オフィス

## 【キャリアセンターの活動について】

昨今のキャリアセンターに求められる役割は、単なる「就職先の紹介窓口」から、激変する採用市場に対応するための「戦略的支援組織」へと大きく変容しています。背景には、採用直結型インターンシップの普及や選考時期の早期化といった、新卒採用ルールの抜本的な変化があります。

このような環境下、まず求められるのは早期化する採用スケジュールへの「即応体制の強化」です。現在の就職活動は、3年生の6月頃から実質的な選考が始まるなど、スピード感が極めて増加しています。学生が情報不足で立ち遅れることのないよう、最新の企業動向・就職環境の情報をいち早くキャッチし、低年次からの学生へのアプローチと早期に対策を実施する機動力が必要です。

次に、「個別伴走型支援」の深化です。学生の価値観や志向が多様化する中で、画一的なガイダンスだけでは十分な成果は望めません。データに基づいたきめ細やかな個別面談を通じ、学生一人ひとりの適性を見極め、時には背中を押し、時には寄り添う「伴走者」としての機能がこれまで以上に重要視されています。特に、就活の長期化で不安を抱える学

生へのメンタル面でのフォローも、欠かせない役割の一つと考えています。

さらに、学外組織とのネットワーク活用も不可欠であり、企業や自治体との緊密な連携はもちろんのこと、強固なネットワークを持つ同窓会や学生を強力にご支援いただける後援会との接点創出は、学生にとって大きな強みとなります。社会の第一線で活躍する先輩たちの実体験を在學生に繋ぐパイプ役となり、リアルな職業観を養う機会を数多く提供することが、学生の納得感ある内定へと直結すると考えます。

最後に、保護者との「適切な情報共有」です。就職環境が親世代とは劇的に異なっている現状を正しく伝え、過度な干渉を抑えつつ、家庭が学生にとっての「安心できる拠点」となるよう働きかける啓発活動も、現在のセンターが担うべき重要な活動の一つです。

変化の激しい時代だからこそ、大学が組織を挙げて学生の就職を支える。その最前線で、実利的なサポートと精神的な支えを両立させることが、キャリアセンターに求められる役割であると考えています。



A号館と広場



寝屋川オフィス

# 就職動向について



## ■2026年卒就職活動の総括

### 1. 学生本位の「売り手市場」の継続

採用人数を増やす企業が減らず企業を上回り、少子高齢化による労働力不足を背景に企業の採用意欲は引き続き高く、コロナ禍以降5年連続で採用予定数が拡大しました。

一方、学生の側では応募企業数を増やすことなく内定を取得する学生が増加し、「売り手市場」の継続が鮮明となりました。

### 2. 採用・就職活動早期化の拍車

学生が就職活動を考え始めた時期は、「大学3年の4月」が多く、3月以前に活動を開始する学生も見受けられました。

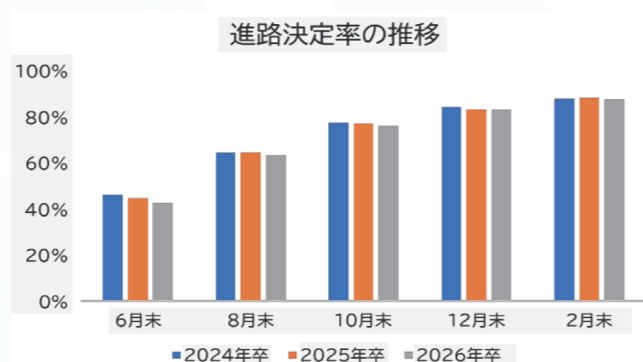
また、企業へのプレエントリーを始めた時期についても、「大学3年の6月」までに夏季インターンシップや仕事体験プログラムに応募する割合が増加しました。

政府の指針では、「採用の広報活動（求人情報の公開）を大学3年次の3月1日以降、採用選考開始時期を大学4年次の6月1日以降としています。早期化のため、2月以前に選考を開始する企業が増加し、結果として内定時期の前倒しが進みました。

学生の内定取得時期は早まりましたが、就職先が決まって活動を終了した学生の割合が増加したわけではなく、早期に内定を取得しても納得いくまで就職活動を継続する学生が多く、就職活動が長期化する傾向が強くなりました。

## ■本学学生の傾向

2026年卒の進路決定率は、2025年10月まで前年を若干下回っていましたが、11月以降は前年同様のペースで推移しました。（グラフ参照）



自己理解や志望先企業の理解を深め、就職活動にじっくり取り組むということであれば、何ら問題はありませんが、「売り手市場」を理由に慌てて就職活動せずともどうにかなると思込み、就職先がなかなか決まらない学生も散見されました。

就職活動の早期化が学業に悪影響を及ぼしていることについて、多くの大学が警鐘を鳴らしていますが、志望者が殺到する有名大手企業の場合などは、大学4年生の6月頃には採用活動を終了するため、就職活動を開始する3年生までに将来どのような方面に進むのか考え、計画的に準備を進めておくことが求められます。

## ■2027年卒の就職活動状況

### 1. インターンシップや仕事体験プログラム参加の重要性

2026年度の採用・就職活動も学生優位の売り手市場が継続し、企業は内定者確保のために早期に学生との接触を図ろうとしています。

そのための手段として、3年生の夏休み期間にインターンシップや仕事体験プログラムを実施する企業が増加しており、参加者の中から採用に向けた母集団形成を行い、早期選考への応募を促しています。

学生は入社企業の選択に参加企業での経験を活かしていますが、2025年卒から一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を採用選考に使用できるようになっており、今後も重要性が高まると考えられます。

### 2. 企業選びの安定志向

近年、学生が就職先の企業選びで重視する点の第一位として「安定している会社」が挙がっており、本学においても同様の傾向が見受けられます。

物価高に伴う経済面への不安を背景に、「生活の安定」や「安心して働ける環境」を重視する学生が増加していますが、「事業内容、仕事内容、将来性」よりも「給与水準、福利厚生、勤務地」を重視するあまり、自分に合った企業選びができないといった危険性があります。

### 3. 生成AIの活用本格化

エントリーシートの作成や推敲、自己分析の言語化、企業メールへのメールの添削など、多くの学生が生成AIを利用しています。

さらに、企業情報の分析や面接練習相手など活用方法の多角化が進み、就職活動の重要なツールとして定着しつつありますが、AIの情報は必ずしも正確とは限らないことや、文章が機械的で自分らしさが失われることに十分注意を払う必要があります。

## ■最後に

新卒採用のあり方は、人口動態、景気動向に加えて、若者の意識や採用・就職に関わるテクノロジーの進化など様々な要素によって変化します。

日本の社会における人材流動性が高まり、転職が当たり前の時代になりつつある中、企業が新卒の一括採用に拘る理由が薄れてきていますが、新卒採用は職種別やジョブ型採用、通年での採用など、従来の画一的な採用から多様化の方向に向かいながらも、引き続き企業にとって主要な人材獲得方法として継続していくとされます。

キャリアセンターは2026年4月から新体制となりました。

今後も学生一人ひとりが納得のいく進路に進んでいけるよう最後まで伴走いたしますので、ご家庭においても、お子様にキャリアセンターを利用するようお勧めいただければ幸いです。

## ■キャリア・就職関連お役立ち情報

### 就職の手引き



### 資格取得支援



### 保護者セミナー



# 学部別就職先リスト 2024-2025

工学部			
(建設業)			
矢作建設工業株式会社	高砂熱学工業株式会社	旭化成ホームズ株式会社	株式会社昭和バルブ製作所
野口建設株式会社	五洋建設株式会社	ヤマト住建株式会社	株式会社京都製作所
北陸電気工事株式会社	共立電業株式会社	パナソニックEWEエンジニアリング株式会社	株式会社マキシコ
鳳工業株式会社	京成建設株式会社	タット・プラン工事株式会社	株式会社ホリゾン
不二熱学工業株式会社	橋建設株式会社	タット・プラン株式会社	株式会社ホーライ
日本電設工業株式会社	岩田地崎建設株式会社	ダイダン株式会社	株式会社フジフレックス
日本電技株式会社	関電プラント株式会社	ダイキンエアテクノ株式会社	株式会社フジサワ・マルゼン
日本建設工業株式会社	株式会社鍛冶田工務店	ジョンソンコントロールズ株式会社	株式会社フジキン
日本建設株式会社	株式会社銭高組	ジャトー株式会社	株式会社ヒラノテクシード
日本ファシリオ株式会社	株式会社浅沼組	サンワコムシステムエンジニアリング株式会社	株式会社ピーマックス
日鉄テックスエンジ株式会社	株式会社木内計測	コーナン建設株式会社	株式会社パウレック
日晶電機株式会社	株式会社東栄住宅	クボタ環境エンジニアリング株式会社	株式会社ナカ電機製作所
南海辰村建設株式会社	株式会社長谷工コーポレーション	エルディ株式会社	株式会社タクミナ
藤井電気工事株式会社	株式会社大本組	アイ電気通信株式会社	株式会社タカトリ
東建コーポレーション株式会社	株式会社大阪城口研究所	TSUCHIYA株式会社	株式会社タカゾノ
東急建設株式会社	株式会社川瀬電気工業所	JR西日本電気テック株式会社	株式会社ダイフク
東亜工業株式会社	株式会社赤鹿建設	JR西日本電気システム株式会社	株式会社ダイキンサンライズ損津
東亜建設工業株式会社	株式会社精研	(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)	株式会社ジェイテクトプレジジョンベアリング
鉄建建設株式会社	株式会社新井組	浅田鉄工株式会社	株式会社ジェイテクト
朝陽電気株式会社	株式会社昭和電工社	布施真空株式会社	株式会社ササクラ
中林建設株式会社	株式会社山上組	富士電子工業株式会社	株式会社カワタ
中電プラント株式会社	株式会社三冷社	富士フィルムマニファクチャリング株式会社	株式会社アイオテック
中設エンジニアリング株式会社	株式会社三晃空調	範多機械株式会社	株式会社TVE
第一設備工業株式会社	株式会社三栄建設	日本金銭機械株式会社	株式会社PEGASUS
第一工業株式会社	株式会社阪電工	日本スピンドル製造株式会社	奥村機械製作株式会社
大和ハウス工業株式会社	株式会社今西組	日工株式会社	旭精工株式会社
大和ハウスリフォーム株式会社	株式会社鴻池組	二九精密機械工業株式会社	ミネベアミツミ株式会社
大和エネルギー株式会社	株式会社高田工業所	桃栄金属工業株式会社	ミツテック株式会社
大末建設株式会社	株式会社京阪エンジニアリングサービス	東洋スクリーン工業株式会社	プライミクス株式会社
大鉄工業株式会社	株式会社掛谷工務店	中西金属工業株式会社	フジテック株式会社
大橋エアシステム株式会社	株式会社奥村組	滝川工業株式会社	ダックエンジニアリング株式会社
太平電業株式会社	株式会社安藤・間	大裕株式会社	キャノンメディカルシステムズ株式会社
村本建設株式会社	株式会社リョウセイ	神港精機株式会社	カヤバ株式会社
積水ハウス建設関西株式会社	株式会社ヤマダホームズ	匠技研株式会社	カナデビア株式会社
西部電気建設株式会社	株式会社ミラノ工務店	芝浦機械株式会社	エスペック株式会社
西武建設株式会社	株式会社ホーク	四国化工機株式会社	エア・ウォーター・エンジニアリング株式会社
生和コーポレーション株式会社	株式会社プランテック	山科精器株式会社	アイズロボ株式会社
須賀工業株式会社	株式会社フジタ	三和エンジニアリング株式会社	YUSHIN株式会社
新菱工業株式会社	株式会社ハンシン建設	佐竹マルチミクス株式会社	TOYOイノベックス株式会社
新日本建設株式会社	株式会社ナカノフドー建設	甲南電機株式会社	TMTマシナリー株式会社
新日本空調株式会社	株式会社トーエネック	京都機械工具株式会社	NTN株式会社
新光電機株式会社	株式会社テクノ菱和	京セラドキュメントソリューションズ株式会社	(印刷・同関連業)
上林建設株式会社	株式会社ダイキンアプライドシステムズ	吉川鐵工株式会社	中本パックス株式会社
松井建設株式会社	株式会社シミズ・ビルライフケア	株式会社浪速ポンプ製作所	(化学工業・石油・石炭製品製造業)
三陽建設株式会社	株式会社コベルコE&M	株式会社日立建機ティエラ	八十島プロシード株式会社
三宝電機株式会社	株式会社きんでん	株式会社日阪製作所	大成化工株式会社
三栄電気工業株式会社	株式会社かんでんエンジニアリング	株式会社日研工作所	昌立工業株式会社
三井住友建設株式会社	株式会社カナデビアエンジニアリング	株式会社湯山製作所	甲南化工株式会社
三井ホーム株式会社	株式会社イチケン	株式会社橋本チエイン	株式会社共和
佐藤工業株式会社	株式会社アイ工務店	株式会社前川製作所	株式会社ダイセル
高松建設株式会社	株式会社アーネストワン	株式会社瑞光	ヤマウチ株式会社
	株式会社アートリフォーム	株式会社神崎高級工機製作所	バンドー化学株式会社
	株式会社TAKイーヴァック	株式会社伸和製作所	テイカ株式会社
	株式会社OSK	株式会社松浦機械製作所	ケミカルクラフト株式会社
	株式会社HEXEL Works	株式会社松井製作所	TOA株式会社
(食料品・飲料・たばこ・飼料製造業)			
株式会社デンソーテン	株式会社ディ・エム・シー	株式会社エネゲート	株式会社oneA
株式会社不二製油株式会社	株式会社G Sユアサ	応用電機株式会社	株式会社G Sユアサ
日本ハム株式会社	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
日世株式会社	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
藤本食品株式会社	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
第一屋製パン株式会社	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
山崎製パン株式会社	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
株式会社創味食品	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
株式会社新潟小規模蒸溜所	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
株式会社山食	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
株式会社スリーエスフーズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
株式会社あみだ池大黒	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ	株式会社フジフレイズ
(製造業)			
太陽パーツ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
摂津金属工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
古林紙工株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社友安製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業)			
日本鉄鋼株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
日本ヴィクトリック株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
東洋シャッター株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
大阪精工株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
高周波熱錬株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社友電舎	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社不二新製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社大阪螺子製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社多久製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社神戸製鋼所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社住友興業	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ムラキ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ピカコーポレイション	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ハーマン	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ジーテクト	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
マルホ発條工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
ツールセンター株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
サムテック株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
エヌ・エス・ケーニダ工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
JFEスチール株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(電気・情報通信機械器具製造業)			
富士ソフト株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
福伸電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
不二電機工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
梅田電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
日本製鋼所株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
日信特器株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
日工電子工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
内外電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
東芝ライフスタイル株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
多田電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
星和電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
新生電子株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
寺崎電気産業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
三菱電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
京都電測株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
久米電気株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
関西電力送配電株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社日本電機研究所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社三社電機製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社光電器製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社下平電機製作所	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社遠藤照明	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ヴィンクス	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社アルメディア・ネットワーク	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社UNITED PRODUCTIONS	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社JR西日本ITソリューションズ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社D T S W E S T	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社C I Jネクスト	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社BookLive	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社B e e	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
プロログ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
パーソナルAVCテクノロジー株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
デジタル・イノベーション・テクノロジー株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
データプロセス株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
さくら情報システム株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
サイバーワークス株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
クロスウェイ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
キャノンITソリューションズ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
キャノンITSメディカル株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
カコムス株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
JRAシステムサービス株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
Gateテクノロジー株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(運輸業・郵便業)			
西日本旅客鉄道株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
神戸新交通株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
近畿日本鉄道株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
京阪電気鉄道株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社RAVIT's	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社JR西日本レールテック	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
ヒカリ産業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
スイスポーツジャパン株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(卸売業)			
尾池工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
日動電工株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
日東工器株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
東西化学産業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
東テック株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
帝人エンジニアリング株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
朝日電器株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
大洋製器工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
積水アクアシステム株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
水戸工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
小池産業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
三和電子機器株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
共立製薬株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社立花エレテック	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ゼニライトブイ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社シブタニ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ジェイ・サイエンス関西	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社カワサキマシンシステムズ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社アイティフォー	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社IDOM	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ACN	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
伊丹産業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
パナソニック電材ソリューションズ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
パナソニックEWEネットワークス株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
トヨタモビリティパーツ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
ダイキンMRエンジニアリング株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
オーナンバ株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(小売業)			
三菱電機株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
生活協同組合おおさかバルコ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
佐竹食品グループ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社万代	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ロック・フィールド	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社プレジィール	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社たねや	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ダイエー	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社シースペース	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社カーポートマルゼン	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社アベックス	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
コーナン商事株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
イオンリテール株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
For Next株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(保険業)			
三井住友海上あいおい生命保険株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(不動産取引・賃貸・管理業)			
株式会社三条工務店	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社エルハウジング	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社アサヒファシリティズ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社torio	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
ファースト住建株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(物品賃貸業)			
西尾レントオール株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
ニシオティーアンドエム株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(専門・技術サービス業)			
竹田設計工業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
税理士法人ほほば	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
三菱電機エンジニアリング株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
三菱自動車エンジニアリング株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
阪神高速技研株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社汎設計	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社日積サーベイ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社日産オートモーティブテクノロジー	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社日建技術コンサルタント	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社中央エンジニアリング	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社第一システムエンジニアリング	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社総合積算	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社新日本設備計画	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社芝田化工設計	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ビジュアル・システムズ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社コベルコ科研	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社コベルコ科研	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社エワイテック	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社Wave Technology	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社TAK-QS	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社KANSOテクノス	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社IAO竹田設計	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
さくら構造株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
MHIマリテック株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
MHIパワーエンジニアリング株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
MHI NSエンジニアリング株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(宿泊業・飲食サービス業)			
日本マクドナルド株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
大真実業株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社理想実業	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社東急ホテルズ	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社王将フードサービス	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社ココスジャパン	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社アールディーシー	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
株式会社GAN KO	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
くら寿司株式会社	株式会社アストモ	株式会社アストモ	株式会社アストモ
(学校教育)			

兵庫県教育委員会
奈良県教育委員会
大阪府教育委員会
大阪市教育委員会
神戸市教育委員会
滋賀県教育委員会
三重県教育委員会
高砂市教育委員会
甲賀市教育委員会
京都府教育委員会
学校法人浪速学院 浪速高等学校・中学校
学校法人大阪電気通信大学高等学校 (教育・学習支援業)
株式会社浜学園
株式会社成学社
(社会保険・社会福祉・介護事業)
株式会社ベネッセスタイルケア (サービス業)
日本コンベヤ株式会社
独立行政法人水資源機構
大王電機株式会社
西日本高速道路ファシリティーズ株式会社
神戸洗管工業株式会社
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
月島ジェイテクノメンテサービス株式会社
近鉄ファシリティーズ株式会社
株式会社日立ビルシステム
株式会社日立パワーソリューションズ
株式会社島津アクセス
株式会社関西シー・アイ・シー
株式会社ホンダテクノフォート
株式会社SHINKO
ファインテック株式会社
トランスコスモス株式会社
セコム株式会社
ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
サノヤホールディングス株式会社
オークラサービス株式会社
ANAラインメンテナンステクニクス株式会社 (国家公務)
防衛省 陸上自衛隊 (地方公務)
福知山市役所
八幡市役所
大阪府庁
大阪府警察本部
大阪府役所
松本市役所
京都府庁
<b>情報通信工学部</b>
(建設業)
J R西日本電気システム株式会社
エクシオグループ株式会社
ジャトー株式会社
株式会社エクシオテック
株式会社かんでんエンジニアリング
株式会社きんでん
株式会社ニシテック
株式会社ミライト・ワン

株式会社阪電工
株式会社四電工
関電プラント株式会社
大日通信工業株式会社
大洋興業株式会社
大和エネルギー株式会社
日鉄テックスエンジ株式会社
日本コムシス株式会社
日本電通株式会社
(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
J F E プラントエンジニア株式会社
S U S 株式会社
カンケンテクノ株式会社
キャノンマシナリー株式会社
ダックエンジニアリング株式会社
ニデックドライブテクノロジー株式会社
株式会社イシダ
株式会社タカゾノ
株式会社ニッケ機械製作所
株式会社ノーケン
株式会社京都製作所
大阪精密機械株式会社 (印刷・同関連業)
株式会社I T P (製造業)
株式会社共和
エンゼルプレイングカード製造京都株式会社
キンキサイン株式会社 (鉄鋼業・非鉄金属・金属製品製造業)
株式会社岡本鉄工所
株式会社ノーリツ (電気・情報通信機械器具製造業)
アイコム株式会社
エムテック株式会社
株式会社サトー
株式会社デンソーテン
株式会社ニューリー・土山
株式会社ノダRFテクノロジーズ
株式会社片岡製作所
関西電力送配電株式会社
三菱電機株式会社
新コスモス電機株式会社
星和電機株式会社
内外電機株式会社
日工電子工業株式会社
日信特器株式会社
日新電機株式会社
(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
R I T A エレクトロニクス株式会社
アルプスアルパイン株式会社
キーエンスエンジニアリング株式会社
コーデンシ株式会社
太洋テクノレックス株式会社 (輸送用機械器具製造業)
ダイハツ工業株式会社
明石機械工業株式会社 (電気・ガス・熱供給・水道業)
アイテック株式会社
関西電力株式会社
(情報通信業)
A J S 株式会社

G a t eテクノロジーズ株式会社
J C O M 株式会社
M K I テクノロジーズ株式会社
N C S & A 株式会社
N E C ソリューションイノベータ株式会社
NEXCO西日本情報テクノロジー株式会社
N S W 株式会社
N T T コモソリューションズ株式会社
O K I クロステック株式会社
S k y 株式会社
T I S ソリューションリンク株式会社
アイネット・システムズ株式会社
アコードワークス株式会社
イ. ソフト株式会社
ウェアシステムテクノロジー株式会社
カコムス株式会社
キャノンITソリューションズ株式会社
コンピューターマネージメント株式会社
サービス&セキュリティ株式会社
さくら情報システム株式会社
サンネット株式会社
シオステクノロジー株式会社
システムズ・デザイン株式会社
センコー情報システム株式会社
セントラルソフト株式会社
デジタル・インフォメーションテクノロジー株式会社
ナショナルソフトウェア株式会社
ナビオコンピュータ株式会社
ニュートラル株式会社
パーソルAVCテクノロジー株式会社
プロアクシアコンサルティング株式会社
ミネバソフトウェアソリューションズ株式会社
ヤマトシステム開発株式会社
ユーソナー株式会社
旭情報サービス株式会社
株式会社A G E S T
株式会社C I J ネクスト
株式会社D o n u t s
株式会社D T S
株式会社D T S W E S T
株式会社H a j i m a r i
株式会社N S D
株式会社N T T データ関西
株式会社Regal Cast
株式会社S I G
株式会社アルファシステムズ
株式会社アルメディア・ネットワーク
株式会社アロートラストシステムズ
株式会社いい生活
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社インテック
株式会社ヴィッツ
株式会社ヴィンクス
株式会社エニプラ
株式会社エヌエスピージャパン
株式会社エム・ソフト
株式会社エンテックス
株式会社オプテージ
株式会社キューブシステム
株式会社クイックサーブ
株式会社クラックスシステム

株式会社クロスユーアイエス
株式会社ケー・エス・ディー
株式会社コア
株式会社コンサルリンク
株式会社サーバーワークス
株式会社サイバーリンクス
株式会社シー・エス・イー
株式会社シーエーシー
株式会社ジール
株式会社ジェリコネットワーク
株式会社システムコーディネイト
株式会社システムディ
株式会社システムリサーチ
株式会社ジャステック
株式会社ゼロワン
株式会社ソフタスパリュウコネクト
株式会社ソフトウェア・サービス
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社ソフトム
株式会社ソルクシーズ
株式会社ディマージシエア
株式会社テブコシステムズ
株式会社ネオ
株式会社ネオジャパン
株式会社フューチャ技研
株式会社プロアシスト
株式会社ヘルスベシス
株式会社ベルチャイルド
株式会社ミック
株式会社ユー・エス・イー
株式会社ラクス
株式会社ランドコンピュータ
株式会社リボルブ・シス
株式会社栗菱コンピューターズ
株式会社大阪エヌデーエス
株式会社大和コンピューター
株式会社第一コンピュータリソース
株式会社電算情報技研
株式会社南大阪電子計算センター
株式会社日新システムズ
株式会社日本コンピュータコンサルタン
株式会社日立システムズエンジニアリングサービス
株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
関西総合システム株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
京都電子計算株式会社
三菱電機ソフトウェア株式会社
昭和コンピュータ株式会社
神戸アドテック株式会社
東芝情報システム株式会社
日本アクティ・システムズ株式会社
日本システム開発株式会社
日本ソフトウェア株式会社
日本情報産業株式会社
日本通信株式会社
富士ソフト株式会社
北港情報サービス株式会社
(運輸業、郵便業)
N X ・N P ロジスティクス株式会社
関東福山通運株式会社
阪神高速パトロール株式会社

西日本旅客鉄道株式会社
大阪モノレール株式会社 (卸売業)
ELソーラーコーポレーション株式会社
コイズミ照明株式会社
シャープマーケティングジャパン株式会社
ダイヤトレンド株式会社
ダイワボウ情報システム株式会社
岡本無線電機株式会社
株式会社khronos
株式会社アイティフォー
株式会社アルチザネットワークス
株式会社スズキ二輪
株式会社デザインアーク
株式会社大西
株式会社良品計画
三菱電機デジタルインベーション株式会社
三和コンピュータ株式会社 (小売業)
コーナン商事株式会社
ナガノコミュニケーションズ販売株式会社
株式会社GLIT
株式会社コスモス薬品
株式会社シップス
株式会社ホンダモビリティ近畿
株式会社ヤナセ
西菱電機株式会社
帝燃産業株式会社
兵庫スバル自動車株式会社 (金融業)
S M B C コンシューマーファイナンス株式会社 (不動産取引・賃貸・管理業)
株式会社リアークスファインド
株式会社東急コミュニティー
阪急阪神ビルマネジメント株式会社 (物品賃貸業)
西尾レントオール株式会社 (専門・技術サービス業)
パーク24株式会社
ポート株式会社
レクストホールディングス株式会社
株式会社Wave Technology
株式会社ウエディングパーク
株式会社フォトクラフト社
計測技研株式会社
山田不動産コンサルティング株式会社
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
川重テクノロジー株式会社
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社 (宿泊業、飲食サービス業)
株式会社ネスタリゾート神戸
株式会社はま寿司
株式会社ビーエムエス
株式会社帝国ホテル
大起水産株式会社
日本マクドナルド株式会社 (学校教育)
学校法人神戸野学園 彩星工科高等学校
神戸市教育委員会
大阪府教育委員会 (医療業、保健衛生)

デンタルサポート株式会社 (社会保険・社会福祉・介護事業)
株式会社ベストライフ (サービス業)
トランスコスモス株式会社
株式会社日立ビルシステム
関電ファシリティーズ株式会社
近鉄ファシリティーズ株式会社
三菱電機システムサービス株式会社
三菱電機ビルソリューションズ株式会社
西日本高速道路ファシリティーズ株式会社
東芝テックソリューションサービス株式会社
東洋テック株式会社
南海ビルサービス株式会社
日信電子サービス株式会社
富士フィルムビジネスインベーションジャパン株式会社
富士通ディフェンス&ナショナルセキュリティ株式会社 (地方公務)
芦屋市消防局
城陽市役所
<b>医療健康科学部</b>
(農業、林業)
小川農園 (建設業)
日軽エンジニアリング株式会社
大和ハウス工業株式会社
浅海電気株式会社
三光設備株式会社
株式会社哲建
株式会社朝日工業社
株式会社大同
株式会社大阪城口研究所
株式会社リョウセイ
株式会社メディアテックー心
株式会社バリュエーエコロジー
株式会社カシワバラ・コーポレーション
株式会社オンテックス
株式会社J R 西日本テクノス
伊丹産業電設株式会社
ダイダン株式会社
ケーアンドイー株式会社
(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
日本光電工業株式会社
日工株式会社
泉工医科工業株式会社
株式会社湯山製作所
株式会社タカゾノ
スタンダードメタル工業株式会社
キャノンメディカルシステムズ株式会社
オージー技研株式会社
G E ヘルスケア・ジャパン株式会社 (製造業)
株式会社中嶋製作所
株式会社河合楽器製作所
株式会社メニコン
株式会社ナイキ
サンロール株式会社
オージーケー技研株式会社 (繊維工業)

セーレン株式会社 (鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
日亜鋼業株式会社
株式会社フジマック
コマニー株式会社
S A N E I 株式会社 (電気・情報通信機械器具製造業)
SDG滋賀株式会社 (電気・ガス・熱供給・水道業)
管清工業株式会社 (情報通信業)
富士フィルムヘルスケアシステムズ株式会社
株式会社菱友システム技術
株式会社日立医業情報ソリューションズ
株式会社日本ビジネスデータプロセシングセンター
株式会社ソフトウェア・サービス
株式会社システムリサーチ
株式会社シーエスアイ
株式会社サービス・レポリューション
株式会社エス・ケイ通信
株式会社エクストリンク
株式会社インテグラル
株式会社イードクトル
スキャネット株式会社
エイベックスマネジメント株式会社
アイスター株式会社
Y & I Group 株式会社 (運輸業、郵便業)
協同組合オー・エム・シー
株式会社後藤回漕店 (卸売業)
日理株式会社
東レ・メディカル株式会社
塚本商事機械株式会社
大都販売株式会社
石黒メディカルシステム株式会社
水戸工業株式会社
城陽ダイキン空調株式会社
小松物産株式会社
山文商事株式会社
宮野医療器株式会社
株式会社良品計画
株式会社立花エレテック
株式会社日興商会
株式会社増田医科器械
株式会社西村ケミテック
株式会社ヨシダ
株式会社ムトウ
株式会社パンジー
株式会社チヨダ
株式会社たけでん
株式会社スチール (製造業)
株式会社中嶋製作所
株式会社河合楽器製作所
株式会社メニコン
株式会社ナイキ
サンロール株式会社
オージーケー技研株式会社 (繊維工業)

株式会社ヤマダデンキ
株式会社ベルパーク
株式会社サザエ食品
株式会社ゴルフパートナー
株式会社クスリのアオキ
株式会社カインズ
SUGALABO V (金融業)
M E D C o m m u n i c a t i o n s 株式会社 (金融業)
尼崎信用金庫
大阪シティ信用金庫 (不動産取引・賃貸・管理業)
中央日本土地建物株式会社
株式会社成都不動産
株式会社イーエスプランニング
株式会社N S T
株式会社And Doホールディングス (物品賃貸業)
株式会社サニクリーン近畿
奥村機械株式会社 (専門・技術サービス業)
共同エンジニアリング株式会社
シップヘルスケアリサーチ&コンサルティング株式会社 (宿泊業、飲食サービス業)
株式会社物語コーポレーション
株式会社Genki Global Dining Concepts
リゾートトラスト株式会社
オリックス・ホテルマネジメント株式会社 (生活関連サービス業、娯楽業)
株式会社LAVA International
マックススポーツ株式会社
ステップアウトダンススタジオ
アカツキスタジオ (学校教育)
奈良県立奈良商工高校
藤井寺市教育委員会
大阪学院大学高等学校
学校法人利晶学園 初芝生命館中学校・高等学校 (教育、学習支援業)
幼児活動研究会株式会社
木幸スポーツ企画株式会社
株式会社バンタン
リーフラス株式会社
スポーツコミュニティ株式会社 (医療業、保健衛生)
洛和会ヘルスケアシステム
日本赤十字社 和歌山医療センター
日本赤十字社 福井赤十字病院
独立行政法人国立病院機構 宇多野病院
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
整形形外科なかむらクリニック
宗教法人在日本南無阿彌陀仏 滝川キリスト教病院
社会福祉法人あじろぎ会
社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院
社会医療法人美杉会 佐藤病院
社会医療法人生長会 ヘルランド総合病院
社会医療法人信愛会 交野病院
社会医療法人純幸会 関西メディカル病院
社会医療法人寿会 富永病院
社会医療法人若弘会 わかくさ電脳リハビリテーション病院

社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院
社会医療法人弘道会
社会医療法人栄公会 佐野記念病院
社会医療法人きつこう会 多岐総合病院
社会医療法人ONE FLAG
三田市民病院
国立大学法人京都大学 医学部附属病院
株式会社互惠会 大阪回生病院
学校法人金沢医科大学 金沢医科大学病院
宇陀市立病院
一般財団法人京都地域医療学際研究所 がくさい病院
医療法人和幸会 阪奈中央病院
医療法人北辰会 天の川病院
医療法人同仁会 京都九条病院
医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺未来医療病院
医療法人展生会 こみ整形外科
医療法人堤整形外科
医療法人相愛会 相原第二病院
医療法人仁真会 白鷺病院
医療法人新生会 総合病院高の原中央病院
医療法人春秋会 城山病院
医療法人社団奉志会 大西メディカルクリニック
医療法人社団武部整形外科リハビリテーション
医療法人社団彦星会 健都よなだスポーツ整形外科
医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院
医療法人社団丸山会 八戸の里病院
医療法人社団 好仁会 滝山病院
医療法人慈豊会 田中病院
医療法人慈恵会 西田病院
医療法人財団康生会 武田病院グループ
医療法人啓信会 大阪整形外科病院
医療法人協和会 協和マリナホスpital
医療法人京優会 谷川記念病院
医療法人橘会 東住吉森本病院
医療法人紀和会 正風病院
医療法人回生会 京都回生病院
医療法人一祐会 藤本病院
医療法人医誠会 摂津医誠会病院
医療法人よもだ整形外科クリニック
医療法人とよかわ整形外科リハビリクリニック
よこい整形外科健康スポーツクリニック
おおみち整形外科リハビリテーションクリニック
(福) 兵庫県社会福祉事業団 川べり(福)中央病院
(独) 地域医療機能推進機構 滋賀病院
(社会保険・社会福祉・介護事業)
社会福祉法人寿光会 特別養護老人ホーム寿光園
IKOI GROUP
(社連推) 日の出医療福祉グループ
(サービス業)
米原商事株式会社
富士フィルムメディカルサービスソリューション株式会社
日康グローブ・キャストリアル・サービス株式会社
東ソー・テクノシステム株式会社
島津メディカルシステムズ株式会社
株式会社SUNホールディングス
株式会社SHINKO
ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
カワサキロボットサービス株式会社
ALSOK近畿株式会社
(国家公務)
防衛省 海上自衛隊

(地方公務)
兵庫県警察本部
総合情報学部
(建設業)
日爐工業株式会社
日鉄テックスエンジニア株式会社
大成建設株式会社
泉鋼管工事株式会社
三宝電機株式会社
協和テクノロジーズ株式会社
株式会社光栄プロテック
株式会社リョウセイ
旭電業株式会社
エスディー建設
アイ電気通信株式会社
NECネットエスアイ株式会社
(製造業)
日進工業株式会社
三進金属工業株式会社
株式会社和気
株式会社千代田セールズ社
株式会社呉竹
株式会社トップ精工
株式会社シマヤ
エンゼルプレイングカード製造京都株式会社
YKK株式会社
(はん用・生産用・業務用機械器具製造業)
桃栄金属工業株式会社
村田機械株式会社
株式会社湯山製作所
株式会社ベッセル工業
株式会社フジサワ・マルゼン
株式会社フジキン
ミナト医科学株式会社
ハシダ技研工業株式会社
ダックエンジニアリング株式会社
NKE株式会社
(印刷・同関連業)
門那シーリング印刷株式会社
福島印刷株式会社
株式会社明新社
株式会社TLP
(鉄鋼業、非鉄金属・金属製品製造業)
古河AS株式会社
株式会社ノダ
株式会社カサタニ
(電気・情報通信機械器具製造業)
株式会社片岡製作所
株式会社下平電機製作所
株式会社マウスコンピューター
システムギア株式会社
サイレックス・テクノロジー株式会社
TOA株式会社
BEMAC Kiden株式会社
(電子部品・デバイス・電子回路製造業)
八光電子工業株式会社
大洋通信工業株式会社
株式会社棚澤八光社
(化学工業、石油・石炭製品製造業)

バンドー化学株式会社
(食料品・飲料・たばこ・飼料製造業)
株式会社中島大祥堂
(輸送用機械器具製造業)
近畿車輛株式会社
(電気・ガス・熱供給・水道業)
アイテック株式会社
(情報通信業)
富士通株式会社
富士ソフト株式会社
日本テクノストラクチャ株式会社
日本システムワープ株式会社
日本コンピュータサイエンス株式会社
東映デジタルセンターツークン研究所
中央コンピュータ株式会社
住友電工情報システム株式会社
三菱電機ソフトウェア株式会社
恒和情報技研株式会社
共同コンピュータ株式会社
株式会社菱友システムズ
株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
株式会社日新システムズ
株式会社東京サウンド・プロダクション
株式会社電算情報技研
株式会社大和コンピューター
株式会社栗菱コンピューターズ
株式会社関電システムズ
株式会社関西東通
株式会社ラピス
株式会社ラクジン
株式会社ミライト・ワン・システムズ
株式会社ボールド
株式会社ブレーンズ
株式会社ブレインアソシエイツ
株式会社フォルテ
株式会社フィットワークス
株式会社ファーストトーン
株式会社ピー・ソフトハウス
株式会社ビー・アイ・スクエア
株式会社バンエイト
株式会社パスカル
株式会社ネオ
株式会社トレンドアート
株式会社トレス・バインド
株式会社ドリームジャック
株式会社ドリームキャリア
株式会社ドキドキグループワークス
株式会社テレビ岸和田
株式会社テラスカイ
株式会社デジタル・フロンティア
株式会社テクノデジタル
株式会社ディーレック
株式会社ダックスプロダクション
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社ソフトウェア・サービス
株式会社ソフテム
株式会社ステップワン
株式会社シンクロジック
株式会社ジラフ
株式会社システムリサーチ
株式会社システナ

株式会社ジェー・シー・スタッフ
株式会社シー・エス・イー
株式会社コンテレノ
株式会社コンサルリンク
株式会社コア
株式会社ケー・エス・ディー
株式会社クレオ
株式会社クリエイターズボックス
株式会社クラックスシステム
株式会社カブコン
株式会社オルジエスタ
株式会社オブテージ
株式会社オープンセサミ・テクノロジー
株式会社オープンアップITエンジニア
株式会社オービーシステム
株式会社オーシーシー情報センター
株式会社エフ・エム
株式会社エヌアイデイ
株式会社エス・シー・アイ
株式会社エクサウィザーズ
株式会社エクスプレス
株式会社エイコーシステムクリエイツ
株式会社ウォンツ
株式会社ヴィンクス
株式会社ウイング
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社イメージ
株式会社イオグランツ
株式会社アルク
株式会社アクシスアソシエイツ
株式会社アクシアソフトデザイン
株式会社アウラ
株式会社アイヴィス
株式会社TREE Digital Studio
株式会社SIG
株式会社ROLL2
株式会社NVC
株式会社NTTデータ関西
株式会社NTTデータSBC
株式会社NTTデータNJK
株式会社NSD
株式会社NID・MI
株式会社LogTech
株式会社LASSIC
株式会社KYOSO
株式会社f4samurai
株式会社EXCEED
株式会社DTS WEST
株式会社D・A・G
株式会社CIJネクスト
株式会社BFT
株式会社ATGS
伊賀上野ケーブルテレビ株式会社
旭情報サービス株式会社
ラウンドテーブル合同会社
ユニバーサルコンピューター株式会社
ポノス株式会社
ポスタス株式会社
フルタ二産業株式会社
バルトソフトウェア株式会社
バルス株式会社

パナソニックネットワークソリューションズ株式会社
パナソニックシステムデザイン株式会社
ニフティ株式会社
ナビオコンピュータ株式会社
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
チームラボ株式会社
ソラド株式会社
ソブラ株式会社
ソフトキューブ株式会社
スキルシステムズ株式会社
スカネット株式会社
シスメックスCNA株式会社
システムテクニカルサービス株式会社
システムクリエイト株式会社
システック株式会社
さくら情報システム株式会社
サイバーワークス株式会社
サービス&セキュリティ株式会社
こしの都ネットワーク株式会社
キャンノンITソリューションズ株式会社
カコムス株式会社
エフビットコミュニケーションズ株式会社
エクセルコンピュータサービス株式会社
ウイン株式会社
インター・ラボ株式会社
イー・アンド・エム株式会社
アバンテック株式会社
アトラス情報サービス株式会社
アコードワークス株式会社
アイネット・システムズ株式会社
アイスター株式会社
TIYONI株式会社
SGシステム株式会社
SETソフトウェア株式会社
NTTドコモソリューションズ株式会社
NSW株式会社
NECフィールドイング株式会社
NECソリューションイノベータ株式会社
NCS&A株式会社
DXCテクノロジー・ジャパン株式会社
CGCGスタジオ株式会社
(運輸業、郵便業)
西日本高速道路パトロール関西株式会社
近畿日本鉄道株式会社
株式会社池田運送
株式会社関西丸和ロジスティクス
株式会社引越社
株式会社ロジコム
株式会社マルニコポーレーション
株式会社つばめ急便
株式会社さくらコーポレーション
一般社団法人日本貨物検査協会
フジトランスポート株式会社
(卸売業)
宝永電機株式会社
福西電機株式会社
富士炉材株式会社
朝日電器株式会社
三菱電機デジタルインバージョン株式会社
株式会社立花エレテック
株式会社野木

株式会社大阪めいらく
株式会社石田商会
株式会社昭栄
株式会社フューチャーイン
株式会社ネットワークバリューコンポネッツ
株式会社トヨタユーゼック
株式会社グリムス
株式会社オーエス
ヤチヨコアシステム株式会社
ムラカワ株式会社
ファミリー庭園株式会社
ダイワボウ情報システム株式会社
ダイキンHVACソリューション東京株式会社
ジェイズ・コミュニケーション株式会社
(小売業)
帝燃産業株式会社
大黒天物産株式会社
西菱電機株式会社
西日本三菱自動車販売株式会社
株式会社万代
株式会社菱和テレコム
株式会社関西スーパーマーケット
株式会社ライフコーポレーション
株式会社ヨドバシカメラ
株式会社ヤマダデンキ
株式会社マルヤス
株式会社マルハチ
株式会社ビックカメラ
株式会社ニッコー
株式会社ドン・キホーテ
株式会社サードウェーブ
株式会社クスリのアオキ
株式会社オークワ
株式会社エディオン
株式会社アベックス
コーナン商事株式会社
株式会社ダイエー
株式会社アインホールディングス
イオンビッグ株式会社
DAIWA CYCLE株式会社
(金融業)
姫路信用金庫
京都中央信用金庫
(保険業)
大同生命保険株式会社
(不動産取引・賃貸・管理業)
株式会社共立メンテナンス
株式会社サニーライフ
株式会社ゴールドファステート
(物品賃貸業)
西尾レントオール株式会社
株式会社教映社
ダイカンサービス株式会社
CAPS株式会社
(専門・技術サービス業)
非破壊検査株式会社
株式会社第一システムエンジニアリング
株式会社マテリアル
株式会社ベリサーブ
株式会社フェイスグループ
株式会社ゲオホールディングス

株式会社クロスフィールド
株式会社ガネット
株式会社U-NEXT HOLDINGS
株式会社STUDIO ARC
SOLIZE株式会社
ARアドバンステクノロジ株式会社
(宿泊業、飲食サービス業)
株式会社物語コーポレーション
株式会社王将フードサービス
株式会社ブロンコビリー
株式会社はま寿司
株式会社トマトアンドアソシエイツ
株式会社どうとんぼり神座
リゾートトラスト株式会社
ホテルニューアワジグループ
ソラレホテルズアンドリゾーツグループ
カッパ・クリエイトホールディングス株式会社
アパホテル株式会社
(生活関連サービス業、娯楽業)
八城観光開発株式会社
泉陽興業株式会社
株式会社大専
(教育、学習支援業)
株式会社湘南ゼミナール
(医療業、保健衛生)
医療法人藤井会
(社会保険・社会福祉・介護事業)
社会福祉法人京都市社会福祉協議会
株式会社ベネッセスタイルケア
株式会社ニチケアパレス
株式会社セルヴィス
株式会社アライブメディケア
SOMPOケア株式会社
(サービス業)
高速道路トールテクノロジー株式会社
株式会社SHINKO
株式会社GRコンサルティング
ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社
FIDIA SOLUTIONS株式会社
(地方公務)
宮崎市役所

2026年3月31日現在



こんな疑問はございませんか？

在学中にどんな資格を取得すればいいのかな？



就職活動や目指す業界に役立つのはどんな資格かな？

そんな疑問を学内資格講座が解決します！

# 資格講座

大阪電気通信大学では資格取得を支援しています。

## 学内講座をおすすめする理由

- 一般的な資格スクールの講座よりも安価で受講できます！さらに後援会会員だけの受験料支援制度あり！
- 学内表彰制度により、対象資格を取得すると賞状と副賞(図書カード)が授与されます！
- 対面講座は学内の教室で実施しますので、時間を効率的に利用できます！
- 各学部・学科に見合った資格を厳選し、オリジナルのカリキュラムを提供しています！
- 長年、大阪電気通信大学で指導実績のある講師をはじめ、実力派講師陣が担当します！



## 大阪電気通信大学 後援会 会員限定

### IT系国家資格 受験料支援制度



学部・学科を問わず、後援会会員を対象とする制度として、下記のIT系国家資格合格者の受験料相当分(7,500円)が支援されます。

国家資格	ITパスポート試験	電通大生には、特に取得を推奨する人気No.1資格
国家資格	基本情報技術者試験	IT業界を目指す学生は、在学中にチャレンジしてほしい資格
国家資格	応用情報技術者試験	高度なIT人材が備えるべき、応用的知識をスキルを証明する資格

### 資格取得表彰制度



下記の資格取得者を対象に表彰する制度です。入学後早い段階で資格取得の有効性を感じ、資格取得を通して知識定着や達成感を体験することで、いっそう学習意欲を高めるための支援制度です。

学長賞	学科で数名程度合格するレベルの資格取得者
学部長賞	学科の1学年の半数未満が合格するレベルの資格取得者
学長奨励賞	1年生のうちに、以下の情報系資格を取得した者 ★ITパスポート試験(受験料支援制度対象) ★基本情報技術者試験(受験料支援制度対象) ○情報セキュリティマネジメント試験 ○MOS ○CAD利用技術者試験



※学科の教育内容により資格取得への難易度が異なるため、表彰対象の資格は所属学科によって異なります。

## 資格学習支援センターより 夏期募集のおすすめ資格・講座

### ITパスポート試験



大阪電通大生であれば取得しておきたい**国家資格**です。セキュリティ対策などITの知識だけでなく、社会人の基礎知識も学べるため、多くの企業で取得者の価値が高まっています。

#### 取得するメリット

- 国家資格のため、知名度があり、社会的な信頼度が高い資格です。
- 社会問題となっているセキュリティの知識が身に付きます。
- 業界や企業を問わず実践的な知識を得られるため、就職活動や大学生活にも活用できます。

▶ ITパスポート合格を目指すなら、こちらの講座！

#### ITパスポート試験講座

講師は長期にわたり講座を担当しており、**例年多数の合格者を輩出**しています！体系化されたカリキュラムで、勉強に自信がない受講生にも取り組みやすいよう工夫しています！

▶ さらに上位資格を目指したい方は、こちらの講座！

#### 国家資格 情報処理3資格最短合格コース

ITパスポート試験・情報セキュリティマネジメント試験・基本情報技術者試験の3資格の最短合格を目指します！各試験の学習内容は連動しているため、効率よく学習でき、例年、単体で受講するよりも**合格率が高い**傾向にあります。

### MOS (Microsoft Office Specialist)



Microsoft製品(Word, Excel®, PowerPoint®)のスキルを客観的に証明できる**国際資格**です。企業が「新卒学生に求めるスキル」としてパソコンスキルは上位です。

#### 取得するメリット

- パソコンスキルを身に付けることができるため、就職後はもとより、大学生活においても即時活用できます。
- 実感される保護者の方も多くと存じますが、パソコンスキルは作業の効率化や労働時間の短縮に直結します。

▶ MOS合格を目指すなら、こちらの講座！

#### 1日完結！MOS 365(Word, Excel®, PowerPoint®)講座

昨年の合格率は約98%！400名以上の合格者を輩出しました！  
学内の教室内で、講義～試験まで**1科目につき1日で完結**！  
万が一不合格の場合でも、**1回のみ無料で再受験が可能**！

▶ 3科目セット受講が断然お得！

#### 3日完結！MOS Associateコース

3科目(Word, Excel®, PowerPoint®)セット受講割引あり！  
昨年は全受講生の約85%が3科目受講！  
3科目合格すると、「MOS Associate」の認定証を手に入れられます！

## 夏期募集講座ラインナップ

募集期間:6/11(木)～6/25(木)

■ITパスポート試験講座	57,000円	■1日完結！MOS Word365講座	25,000円
■情報処理国家資格3資格最短合格コース	148,000円	■1日完結！MOS Excel®365講座	25,000円
■情報処理国家資格2資格ステップアップコース	108,000円	■1日完結！MOS PowerPoint®365講座	25,000円
■ITパスポート試験リベンジ講座(再受験者向け)	20,000円	■3日完結！MOS Associateコース	65,000円
■2次元CAD利用技術者試験2級講座 <基礎コースのみ>	10,450円	■2日完結！MOS Excel®365 Expert講座	36,000円
■2次元CAD利用技術者試験2級講座 <基礎+試験対策コース>	23,620円	■TOEIC®L&R<500~800点目標>講座【WEB】	19,230円
■危険物取扱者試験(乙種第4種)講座	20,300円	■色彩検定®2級講座【WEB】	30,000円
■【就活準備講座】SPI+CAB対策集中講座	3,300円	■CGクリエイター検定<ベーシック>講座【WEB】	25,000円

◎記載金額は受講料(受験料・テキスト代込み ※一部対象外あり)  
◎ラインナップは変更となる場合がございます。



公式LINE

### 大阪電気通信大学 資格学習支援センター

◎寝屋川キャンパス 大阪府寝屋川市初町18-8 開室時間10時～17時 月～金  
◎四條畷キャンパス 大阪府四條畷市清滝1130-70 開室時間10時～17時 月・木  
Tel:072-820-9032 Mail:oecu-shikaku@ing-edu.com



詳細はホームページをご覧ください。

## 各種奨学金について

奨学金は、人物・学業成績が優秀でありながら、経済的な理由によって修学が困難な学生に対して、一定の金額を「貸与」又は「給付」する制度です。

大学で取り扱っている各種奨学金の募集については、大学のホームページ、My Portal、学内メール(oecuメール)、WEB 掲示板等でお知らせします。

奨学金は、申し込みから採用・継続・各種変更等の手続きまで、すべて学生本人に行なっていただきます。奨学金に関する日程・手続については、各自で確認されますよう、保護者の皆様からご指導ください。

また、各種奨学金制度には、家計の急変（主たる家計支持者が死亡、失業又は被災等）により学業の継続が困難となった場合に、申請を随時受け付けるものがあります。

奨学金に関するお問い合わせは、各窓口（寝屋川キャンパス⇒寝屋川学務課奨学金窓口、四條畷キャンパス⇒四條畷学務課奨学金窓口）までお気軽にご相談ください。

### 奨学金制度一覧（2026年3月6日現在）

#### [大学院]

奨学金名称	種別	金額	利子の有無	貸与（給付）期間	備考
日本学生支援機構 授業料後払い	貸与	年額776,000円 (半期388,000円)	無利子		申込時期4月 (秋入学者は9月) 第一種と併用不可
日本学生支援機構 第一種奨学金	貸与	月額 博士前期課程：50,000円 又は 88,000円 のいずれかを選択 博士後期課程：80,000円 又は 122,000円 のいずれかを選択	無利子	採用年度から 最短修業年限 (継続審査あり)	申込時期4月・9月 家計急変の場合には、 随時申込可能 (ただし、事由発生 後12ヶ月以内に申 込手続きが完了して いること)
日本学生支援機構 第二種奨学金	貸与	月額 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円から選択	有利子 (貸与終了後年利 上限3%の利息)		
大阪電気通信大学 「後援会・友電会」 貸与奨学金	貸与	半期学費相当額	無利子	原則1回	家計急変の場合
大阪電気通信大学 教育ローン 利子補給奨学金	給付	当該年度に支払った学費ローンにかかる利子相当額	—	最短修業年限	申込時期 2月初旬 大学指定の教育ローン を利用し学費を納入 した学生 所得制限あり
大阪電気通信大学 大学院 博士前期課程 特待生制度	給付	年額 350,000円(A奨学金)、200,000円(B奨学金)、 160,000円(C奨学金)、80,000円(D奨学金)、 96,000円(E奨学金)、320,000円(F奨学金)、 480,000円(G奨学金)、192,000円(H奨学金)	—	上限2年間 (1年ごとに 申請・選考あり)	申込時期 4月上旬 種類・金額については コース又は専攻により設定
大阪電気通信大学 大学院 博士後期課程 特待生制度	給付	500,000円	—	上限3年間 (1年ごとに 申請・選考あり)	申込時期4月上旬 (秋季入学者は1月) 後期学費から減免 する
民間・地方公共団体の奨学金	給付 貸与	各種民間団体等による	—	各種民間団体 等による	申込時期・条件等は 各団体による (大学を通さず、本人 が応募するものもあり)

#### [学部学生]

奨学金名称	種別	金額	利子の有無	貸与（給付）期間	備考
日本学生支援機構 給付奨学金	給付	自宅通学生：第Ⅰ区分 38,300円 第Ⅱ区分 25,600円 第Ⅲ区分 12,800円 第Ⅳ区分(多子世帯) 9,600円  自宅外通学生：第Ⅰ区分 75,800円 第Ⅱ区分 50,600円 第Ⅲ区分 25,300円 第Ⅳ区分(多子世帯) 19,000円	—	採用年度から 最短修業年限 (継続審査あり)	申込時期 4月・9月 給付奨学金受給 対象者は授業料 減免対象者となる 家計急変の場合には、随時 申込可能(ただし、事由発 生後3ヶ月以内に申込手続 きが完了していること)
日本学生支援機構 第一種奨学金	貸与	自宅通学生：20,000円・30,000円 40,000円・54,000円※ 自宅外通学生：20,000円・30,000円 40,000円・50,000円・64,000円※ から選択できます ※規定あり	無利子	採用年度から 最短修業年限 (継続審査あり)	申込時期 4月・9月  家計急変の場合には、 随時申込可能 (ただし、事由発生後 12ヶ月以内に申 込手続きが完了して いること)
日本学生支援機構 第二種奨学金	貸与	月額 20,000円、30,000円、40,000円、 50,000円、60,000円、70,000円、 80,000円、90,000円、100,000円、 110,000円、120,000円から選択	有利子 (貸与終了後 年利上限 3%の利息)		
大阪電気通信大学 「後援会・友電会」 貸与奨学金	貸与	半期学費相当額	無利子	原則1回	家計急変の場合
大阪電気通信大学 友電会給付奨学金	給付	月額 30,000円 (年額 360,000円)	—	1年間 (在学中に1回のみ)	課外活動の成果と 学業成績で選考
大阪電気通信大学 特別奨学金	給付	入学金相当額	—	入学時	入学日時点において、 既に本学に在籍する親 族又は卒業した者の親 族(2親等以内) 親族が同一年度に入学 する者である場合1名 のみが対象者となる。
大阪電気通信大学 教育ローン 利子補給奨学金	給付	当該年度に支払った学費ローンにかかる利子相当額	—	最短修業年限	大学指定の教育 ローンを利用し学 費を納入した学生 所得制限あり
民間・地方公共団体の奨学金	給付 貸与	各種民間団体等による	—	各種民間団体等 による	申込時期・条件等は 各団体による(大学 を通さず、本人が 応募するものもあり)

大阪電気通信大学より

## 提携教育ローンのご案内

本学では、保護者様等にかかる学納金の一時的な経済負担を軽減するため、  
入学金や授業料などの納付金を分割でお支払いいただける制度のご案内をしております。  
ご利用を希望される場合は本紙の内容をご確認いただき、  
下記ホームページからお申込みいただきますようお願い申し上げます。

**本学では学生支援の一環として利子補給奨学制度を導入しております。詳細は学務課（072-813-7588）までお問合せください。**

8万人以上の皆様にご利用いただいています。

### 大阪電気通信大学提携教育ローン「学費サポートプラン」

※学費サポートプランは、株式会社オリエントコーポレーションと提携した教育ローンです。

#### 毎月の返済額は固定なので安心

お支払い開始から完了まで手数料は固定。  
月々のご返済金額が一定になるので、  
返済計画が立てやすくなります。

#### インターネットでかんたんお申込み

24時間365日、いつでもお申込みいただけます。  
ご来店の際は必要ございません。審査は最短1営業日で完了。

#### 一部繰上返済が可能

毎月の返済額とは別にまとまった金額をご返済いただけます。  
いつでも、何度でも1回につき設定金額は30,000円以上  
繰上返済手数料は無料でご利用いただけます。

#### 学校提携の優遇手数料

実質年率 **3.5%** (固定)

#### <お申込みの流れ>

- STEP1** ホームページで、お申込みフォームを入力。
- STEP2** 翌営業日に、審査結果をお電話またはメールでご連絡。
- STEP3** 学校へ入金後、メールで完了のご連絡。

下記ホームページからお申込みください。スマートフォンでもスムーズにお申込みいただけます。

<https://www.osakac.ac.jp/>

※大阪電気通信大学ホーム>キャンパスライフ>奨学金制度等について>奨学金・教育ローン  
>大阪電気通信大学提携教育ローン「学費サポートプラン」



株式会社オリエントコーポレーション

## ◎お支払い方法は、以下の2つのプランから選択いただけます。

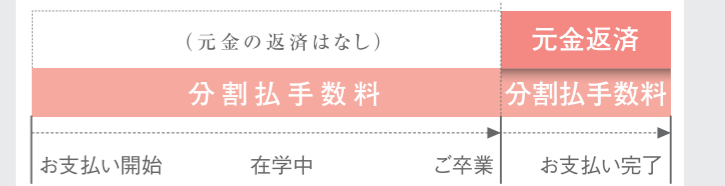
### 通常払い 返済期間を短くしたい方におすすめです

在学中から分割支払額をお支払いいただくプランです。



### ステップアップ払い 無理なく返済したい方におすすめです

在学中は分割払手数料のみのお支払いで、  
卒業後は通常払いにてお支払いいただくプランです。



ご利用例 [ご利用金額: 800,000円 在学期間: 2年] (現金価格)

※実質年率 3.5% の場合

お支払いプラン	在学中	卒業後	最終月 分割支払額	支払総額	総支払回数 (期間)
	分割支払額 / 支払回数(期間)	分割支払額 / 支払回数(期間)			
通常払い	12,000円 / 74回(ヶ月)		2,861円	890,861円	75回(ヶ月)
ステップアップ払い	2,333円 / 24回(ヶ月)	12,000円 / 74回(ヶ月)	2,861円	946,853円	99回(ヶ月)

※ご卒業後にお支払いをお子様へ引き継ぐ「親子リレー返済プラン」もお選びいただけます。  
※一部繰上返済も可能です(3万円以上)。繰上返済手数料無料で何度もご利用いただけます。

## ◎学費サポートプランなら、追加利用の際もお支払いを1本化できるので安心です。

月々のお支払い額を余裕をもって設定されているなら

⇒追加利用しても、月々のお支払い額はそのまま!



月々のお支払い額をなるべく少なく設定されているなら

⇒ご利用合計金額にあわせて、月々のお支払いを一本化!



#### 返済テーブル表

ご利用合計金額	最低分割支払額
10万円以上～50万円以下	6,000円
50万円超～100万円以下	12,000円
100万円超～150万円以下	18,000円
150万円超～200万円以下	24,000円
200万円超～250万円以下	30,000円
250万円超～300万円以下	36,000円

300万円を超える場合の最低分割支払額についてはホームページでご確認下さい。  
※前回までの学費サポートプランご利用分と合算して請求させていただきます。(ご利用残高と追加利用額の合計額により、毎月の最低分割支払額が変わります。最低分割支払額はホームページをご確認ください。)※他の教育ローンでは、追加申込ごとに複数契約となります。

#### <学費サポートプラン概要>

- 対象費用 : 入学金・授業料・実験実習費等の学費
- 申込者 : 保護者等 ※保証人は原則不要
- 申込期間 : 納入期間に合わせ都度お申込み(審査最短1日)
- 申込上限金額 : 500万円
- 分割払手数料率 : 3.5% (実質年率)
- 申込方法 : Web・郵送でのお申込み(来店不要・全国対応)
- 学費の振込 : 学校指定口座へ入金
- 必要書類 : 学生証(合格証)など証明書/納付額の記載書類など  
※必要書類のイメージ画像をアップロードしてください。

#### 「学費サポートプラン」のご案内



株式会社オリエントコーポレーション 本社 / 〒102-8503 東京都千代田区麹町5丁目2番地1

☎ 0120-517-325 お問合せ受付時間 / 9:30～17:30

(当社は電話リレーサービスに対応しています。)

# 2026年度 教育懇談会のお知らせ



本学では学業成績や履修・出席状況等をお伝えし、保護者のみなさまのご質問・ご相談に教員がお答えする教育懇談会を実施しています。詳細につきましては、日程が近づきましたら大学より対象のみなさまへ直接郵送にてご案内があります。ぜひご参加ください。

なお、前期はすべての学生、後期は修得した単位数が学科が指定する単位数に至らなかった学生が対象です。

教育懇談会は、事前予約制の時間指定で実施されます。当日受付は出来ませんので、必ず案内される指定期間内にご予約ください。

## 2026年度開催スケジュール

前期	2026年9月12日(土)	10時~16時	◆個人面談 (1組あたり20分、予約制) ◆学生生活・就職相談コーナー (希望者のみ、予約不要)
後期	2027年3月6日(土)		

## 会場

寝屋川キャンパス	工学部、情報通信工学部、建築・デザイン学部の学生
四條畷キャンパス	健康情報学部/医療健康科学部、総合情報学部の学生

# ご入学おめでとうございます

4月2日(木)寝屋川市民会館にて2026年度入学式が挙行されました。

管弦楽団と吹奏楽団による演奏に包まれ、式は温かな雰囲気の中で始まりました。

式典では、塩田邦成学長による告辞が述べられ、続いて大石利光理事長より新入生へ祝辞が贈られました。

みなさんのこれからの学生生活が実り多いものとなることを、心より願っております。



大阪電気通信大学・大学院 入学式



管弦楽団と吹奏楽団による演奏

新入生代表の宣誓



サークル活動への勧誘



学生作成のARフォトフレーム

# なわフェス'25

2025.12.20 (sat)  
in 四條畷キャンパス

文 四條畷キャンパスイベント運営委員会  
第17期 委員長 福原 大誠

第17期四條畷キャンパスイベント運営委員会は、2025年12月に「なわフェス'25」を開催いたしました。本年度のテーマは「彩り」、コンセプトは「非日常」です。来場者の皆様に日常とは異なる特別な体験を提供し、本学の魅力発信と地域との交流促進を目的として企画・運営を行いました。

今年度のなわフェスでは、イルミネーション企画や謎解き脱出企画など昨年度から継続して実施している人気企画の充実に加え、新たに宝探し企画やカジノ企画等を行いました。キャンパス全体を活用した装飾や演出により、訪れた方々に「彩り」と「非日常」を感じていただける空間づくりを目指しました。また、学生団体や地域団体との連携による展示・ワークショップも多数実施し、幅広い世代が楽しめるイベントとなりました。

当日は1,180名の方にご来場いただき、昨年度の約2倍となる大変多くの皆様にご参加いただきました。会場各所で地域住民の皆様と学生との交流が生まれ、キャンパスが笑顔と活気に包まれる一日となりました。特に子ども向け企画は好評で、ご家族連れの来場者が多く見られたことも本年度の大きな成果の一つです。

また、コナミホール企画では、シンガーソングライターのオーイシマサヨシ様をお招きし、ソロライブを開催いたしました。多くの来場者が迫力あるパフォーマンスに



魅了され、会場全体が一体感に包まれる特別な時間となりました。本企画は本年度の象徴的な取り組みとなり、イベント全体の盛り上げりに大きく寄与しました。

本年度の委員会は50名体制で活動し、企画立案から当日の運営まで委員一人ひとりが主体的に役割を果たしました。新たな挑戦や地域連携を通して、多くの学びと成長を得ることができました。

なわフェス'25は、地域団体の皆様、学内外の関係者の皆様のご支援・ご協力により無事開催することができました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

今後も四條畷キャンパスイベント運営委員会は、本学と地域をつなぐ架け橋として、より魅力あるイベントづくりに取り組んでまいります。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



# なわフェス後援会コーナー

12月20日(土)のなわフェスでは、後援会コーナーに多くの皆さまが足を運んでくださいました。子供たちの笑顔と、家庭のあたたかな時間が広がった一日となりました。未就園児から中学生以上まで幅広く、四條畷市を中心にさまざまな地域から来場がありました。

## 〈ご来場の方々の声〉

- ・子供が楽しめた
  - ・保護者も一緒に楽しめた
  - ・準備の丁寧さがつたわった
- などなど、あたたかいご意見をいただきました。



当たるかな?と胸を弾ませる子どもたちの笑顔が印象的でした。

## 世界にひとつだけの プラコースターづくり



親子で手を動かしながら、ゆったりとした時間を楽しんでいただきました。

## 後援会メンバー



😊 笑顔で迎え、笑顔で終えた一日でした 😊



みんなが応援しながら楽しむ姿が、会場をあたたかく包んでいました。



# 〈2025年度〉 建築学科卒業研究・卒業設計審査会 学位授与式における表彰式

1月21日(水)、22日(木)の2日間、寝屋川キャンパス多目的製図室(アトリエ)で建築学科  
※4年生の卒業研究・卒業設計審査会を行いました。

(※2024年4月より建築・デザイン学部 建築・デザイン学科建築専攻へ)

2日間にわたる審査会終了後には、論文部門と設計部門それぞれの最優秀賞および優秀賞などが発表され、3月18日(水)学位授与式にて表彰式を行いました。

学生たちは、4年間の大学での学びの成果とともに、昨年春から1年間取り組んだ卒業研究論文・卒業設計作品の成果を緊張しながら発表し、2日間にわたる審査会終了後には、これまで励んできた4年生を称え、最優秀賞及び優秀賞などが発表されました。

後援会から副賞として選ばれた  
最優秀賞(2作品)・優秀賞(4作品)にガラス楯を  
贈呈いたしました。



矢ヶ崎善太郎学科主任



記念トロフィーと賞状と図書券



矢ヶ崎善太郎学科主任の話を聞く学生達

▼表彰された学生さんは下記の通りです。

■**最優秀賞(論文)** 岡本尚也(建築情報デザイン研究室)  
Webブラウザを用いたエンドユーザーのためのBIM情報の構築

■**最優秀賞(設計)** 深井奎佑(都市建築環境デザイン研究室)  
日常に寄り添う小さなにじみ  
ー坂のまち尾道の日常行為による都市更新提案ー

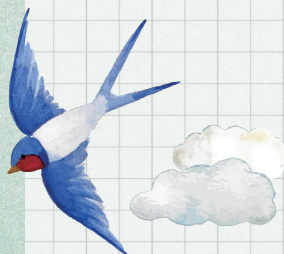
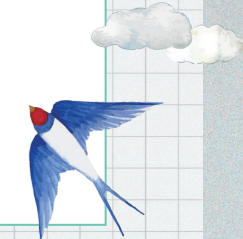


■**優秀賞(論文)** 高橋亮祐(都市建築環境デザイン研究室)  
学校建築の屋内外コミュニティスペースにおける行動評価に関する研究・設計論  
ー大学キャンパスにおける中庭および隣接屋内空間の利用実態調査ー

■**優秀賞(論文)** 馬場海斗(ハイブリッド構造研究室)  
地域別の竹の強度に関する実験的研究

■**優秀賞(設計)** 小池昂(都市建築環境デザイン研究室)  
「隠れ家」  
ー京橋高架下の再生ー

■**優秀賞(設計)** 藤枝和奏(建築意匠インテリア研究室)  
むすんで、ひらいて、堤防のまち  
ー地域の再生・地域のランドマークデザイン・災害に備えるー



# 卒業研究・卒業制作展 2025

# なわてん

2026年2月2日(月)～3月27日(金)

デジタルゲーム学科 卒業研究・卒業制作展  
ゲーム&メディア学科 卒業研究・卒業制作展  
情報学科 特別研究展



今年で開催 23 回目を迎える「なわてん」  
今年度は学内展示とオンライン展示をあわせて開催し、学生一人ひとりの個性豊かな発想と4年間の集大成の成果を見せていただきました。  
2月8日(日)開催された「なわてんグランプリ」では出展作品の中から優れた研究・作品に対し、ゲーム、メディアデザイン、研究など各部門の表彰を行いました。  
表彰式では対面とオンラインで開催いたしました。  
8日に開催した「なわてんグランプリ」では出展作品の中から優れた研究・作品に対して、各部門の表彰を行いました。

## 塩田学長ごあいさつ

なわてん 23 回目の開催、おめでとうございます。今日のこのなわてんに向けて、皆さん頑張ってこられたことを見せていただいて、大変熱量を感じました。この場所と時間を超えてオンライン開催をするという、総合情報学部らしい取り組みだと思えます。皆さんの作品を拝見して、熱量を感じたのですが、ここに至るまで大変な苦労があったと思います。企画をして、そして先生方にプレゼンをして、締め切りまでに仕上げる。社会に出て必要な力を、この一連の制作の過程で身につけていたものと思います。この苦労は社会に出れば必ず役立つことと私は思います。  
拝見して、ゲームとかエンターテインメントというのは、ただ単に娯楽というだけではなくて、社会のインフラになりつつあると感じました。出展されている作品の中にもそういうものが結構多くありました。教育や医療、公共サービス、介護の分野でゲームやエンターテインメントのスキルが使われていくことを強く感じました。この4月からデジタルゲーム学科とゲーム&メディア学科をリニューアルをして、新しい新デジタルゲーム学科を開設します。その中にゲーム・社会デザイン専攻を設け、ゲーミフィケーションの新しい取り組みをすることにしています。大学がこの判断をできたのは、皆さんの取り組みがあって、これがいけるぞと大学が思ったことに間違いありません。  
皆さんが作ってくれたこの成果をさらに4月以降発展させていけるようにしたいと思いますし、新しい分野で新しい先生方に来ていただきますので、力を貸していただいて、さらに盛り上げていきたいと思っています。今日は表彰ということで、みんなドキドキしているかもしれません。それぞれの成果に自信を持って、今後社会に育っていただきたいと思っています。  
最後に、このなわてんを支援していただいた後援会の皆さん、ご支援誠にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

作品総数 212 件を厳正な審査が行われ選ばれた各賞をご紹介します。

## 後援会賞 十二支季

ゲーム&メディア学科 井上 夏芽さん



### 井上夏芽さんのコメント

後援会賞に選んでいただいたことはありがたく思っております。もともと日本文化、様々な日本の行事であったりというのが好きだったので、それを卒業制作として今回好きなだけ表現できたということにも大変満足しております。卒業制作を制作する中で指導していただいた先生や支えてくれた母にも深い感謝をしております。

### 後援会賞 十河会長 講評

日本の伝統的な十二支と十二ヶ月を題材に、掛け軸という古典的な表現形式へ現代的な感性を見事に融合させた作品です。各月に反映されたキャラクターは伝統を尊重しつつも独創的なデザインで新たな生命を組み込まれており、若い世代による日本文化の再解釈として高く評価できます。伝統文化への深い理解と敬意を基盤に、新たな感性で再解釈する姿勢は、これからの時代に求められる創造性そのものです。伝統の継承と革新的な表現の見事な融合を高く評価し、心よりお祝い申し上げます。

## 研究部門賞 LiDARの反射強度と追跡技術を用いた建設機械の管理手法の高精度化に関する試行

情報学科 宮本 歩さん



### コメント

まさか選んでいただけると思っていなかったのですが、ちょっとコメント準備していませんでした。素晴らしい研究の中で、こうして選んでいただき、とても嬉しく思います。ご指導、ご鞭撻いただいた中原先生や同研究室の先輩方、仲間に厚くお礼申し上げます。最後になりますが、なわてんの関係者、ご審査いただいた先生方にも厚くお礼申し上げます。本日は、どうもありがとうございました。

## 認知症予防に向けた 二重課題レースゲームの開発と評価

デジタルゲーム学科 武田 秀悟さん 藤村 一石さん 松山 晃大さん

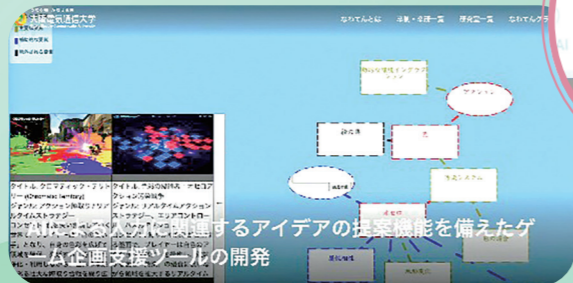


## AIによる入力に関連するアイデアの提案機能を備えた ゲーム企画支援ツールの開発

デジタルゲーム学科 三河 達也さん

### コメント

この度はこのような素晴らしい賞に選んでいただき本当にありがたく思います。この研究をしていく上で、大学での授業や、それ以外のチームでの制作など様々な経験が多いに役に立ちました。ご指導いただいた沼田先生、アドバイスをいただきました研究室の仲間たちに深く感謝いたします。本日はありがとうございました。



## 教習所向けVRドライビングシミュレータの開発

情報学科 浅野 亮大さん



### コメント

このような賞をいただけたことに深く感謝しております。ご指導ご鞭撻いただきました大西教授、関係者の皆様方に深くお礼申し上げます。この研究は、自分の「車が好き」という思いを研究に結びつけていったものです。ちなみに皆さま、なわたんのオンラインサイトを見ていただけましたでしょうか？ぜひ見ていただければと思います。最後にこの研究がより発展して若者の車離れをなくし、また車好きの人がもっと増えていただけたらと思います。皆さん免許を取り、車に乗りましょう。ありがとうございました。



### 武田秀悟さんのコメント

このような貴重な賞をいただきありがとうございます。僕自身賞をもらえると聞いた時とても驚きました。この研究自体が4年間の中で一番苦労した研究だったので最後まで諦めずに頑張り続けた結果がこのように賞としてもらったのかなと思っています。最後になりますが、この研究を行うにあたってご指導いただいた教員、研究室内外の方にもたくさんのご協力いただきました。深く心よりお礼申し上げます。本日はありがとうございました。

### 藤村一石さんのコメント

素晴らしい賞をいただきありがとうございます。この研究は、先生方のご指導や研究室の先輩やメンバー達の協力、チームメンバーの協力があってこそだと思っているので感謝もしきれないと思います。今後もこの経験を糧に成長していきたいと思っています。ありがとうございました。

## フェイク顔画像検出のためのCNN分類器と Grad-CAMを用いたバイアス解析

情報学科 中井 十夢さん



### コメント

このような賞をいただきありがとうございます。今回の研究では、実写顔画像と生成顔画像を識別するテーマで研究したんですけど、これからのAIの発展によってこのような画像の真偽判別の技術は重要になってくると思うのでこれからもこの受賞を糧に様々な学習を深めていきたいと思っています。またこの研究に関わってくださった仲間や指導してくださった先生達には、非常に感謝しております。ありがとうございました。



## 研究部門賞 沼田先生 講評

なわたん研究賞の審査委員長を務めました、沼田です。まずは受賞された皆さん、本当におめでとうございます。

今年の審査では、単なる技術の優劣だけではなく、「技術がいかにして社会全体の体温を上げるか」、つまり「現実の課題解決」と「学術的な探求心」が高い次元で結びついているかを重視しました。選出された5件の研究は、どれもそのバランスが素晴らしく、審査委員会でも高く評価されました。

宮本さんの研究は、建設DXという現在進行形の社会変革において、LiDARの反射強度という技術要素を「現場で使える形」の実用化に結びつけた点が評価されました。中原先生のご指導のもと、実験による検証まで行い、社会実装への道筋が示されています。

武田さんの研究は、認知症予防という社会的意義の大きいテーマに、ゲームという手法でアプローチされました。横石先生のご指導のもと、この基盤システムが他の研究の軸となったことも含め、研究の波及効果を評価いたしました。

三河さんは、私の研究室の学生ですが、あえて客観的に評価させていただきました。ゲーム企画における「アイデアの根源」という現場の切実な課題に対し、キーワード拡張と画像生成を組み合わせた独自の共創モデルを構築しました。生成AIという新しい波を、単なる「便利ツール」ではなく、人間の創造性を引き出す「共創のパートナー」として定義し直した点は、これからのゲーム制作に新たな光を当てるものだと思います。

浅野さんの研究は、自動車教習所という具体的な現場にVR技術を適用し、さらに実験を重ねて定量・定性両面から検証された実践的研究です。大西先生のご指導のもと、スピード感、車幅感覚、距離感といった運転の本質的要素について丁寧に分析されており、実用化への道筋が明確に示されています。

中井さんの研究は、生成AIがブラックボックスとして社会に浸透しはじめている今、非常に重要な「信頼性の問題」を問うものです。単に分類の精度を競うのではなく、Grad-CAMという可視化手法を用いて「AIがどこを見て判断しているのか」というブラックボックスを開けた点が、学術的に高く評価されました。指導教員の久松先生も、国際会議での発表を十分期待できるとコメントされており、審査委員会としても同意見です。

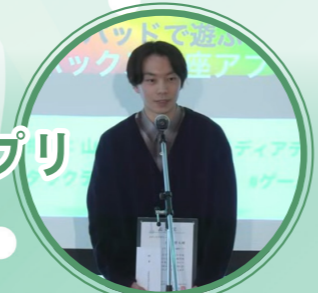
受賞した5件に共通するのは、画面の中だけで完結せず、常に「その先にいる人間や社会」を見つめているという点です。これは研究の本質であり、皆さんの卒業後のキャリアにおいても必ず生きる姿勢だと、確信しております。

あらためて、受賞された皆さん、おめでとうございます。

## メディアデザイン 部門賞

### ヒューマンビートボックス講座アプリ

デジタルゲーム学科 目崎 悠太さん



#### コメント

このような素晴らしい賞に選んでいただき、とても嬉しく思います。ありがとうございます。ヒューマンビートボックスというのは、楽器を使わず口だけで表現できる音楽にもかかわらず、まだ認知が浅いという難点があるところが課題点だとずっと感じておりました。そこでこの研究というか作品を通して初心者の方が積極的に学んでいただける機会を作ったというのは、私にとってもヒューマンビートボックス界隈にとってもとても発展を遂げるということで嬉しく思っております。ありがとうございます。



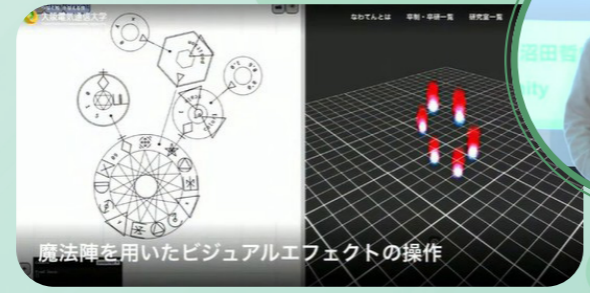
## 魔法陣を用いたビジュアルエフェクトの操作

デジタルゲーム学科 宇藤 雅人さん



#### コメント

今回、このような賞を数ある作品の中から選んでいただき、とても嬉しく思います。ありがとうございます。このような制作ができたのも、指導教員の沼田先生、それとゼミの仲間たち、友人や先輩方の協力があったことです。大変ありがとうございました。



## かぎ針で編む 枯れない花

ゲーム&メディア学科 大西 輝美果さん



#### コメント

たくさんの作品の中からこちらの賞を選んでいただき本当にありがとうございます。この作品を作るにあたって、研究室の渡部先生や研究室の仲間の支えがあったので、すごく嬉しいです。本当にありがとうございます。



## 地元の色 —local colors—

ゲーム&メディア学科 岩本 瑞歩さん



#### コメント

このような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。大変嬉しく思っております。本作品にご指導、ご協力いただいた方々に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 金剛力士像のデジタルクローンと現代美術の融合

デジタルゲーム学科 折本 一輝さん



#### コメント

今回はこのような素晴らしい賞を受賞できて嬉しく思っております。本当にありがとうございます。本作品はですね、金剛力士像の造形的な魅力とその迫力を、それぞれフィギュアとポスターといった媒体で表現しております。その魅力を皆さんにも感じてもらえたら嬉しいと思っております。本日は本当にありがとうございました。



## AR技術を用いた、現実と仮想が融合したフィギュアの制作

デジタルゲーム学科 大槻 紘太郎さん



#### コメント

今日は数ある作品の中から私の作品を選んでいただき、本当にありがとうございます。私の作品は研究室で学んだフィギュアの制作と、あと何を混ぜたら面白くなるだろうということで、デジタルと融合させたらどうなるかというのをテーマに制作しました。一応作品としては完成しているんですけど、和田先生が言ったように、これはスタートだと思っています。まだまだ発展する余地があると思っているので、個人的にも今後も研究を続けていきたいと思っていますし、これをご覧になった人にも、何かしらのアイデアやインスピレーションといった形で、何か得てもらえたらなと思っております。本日はありがとうございました。



## DIMENSIONS AND DISPLAYMETHOD

デジタルゲーム学科 村林 虎さん



#### コメント

本日はこのような賞をいただきありがとうございます。私の作品はアナログ展示で映えるようなものを制作するというので、昨今ではSNSなどのモニターで表示するイラストを見ることが増えてきた中で、このように対面展示でのイラストが映える表現が評価されて、本当にうれしいと思っております。この制作に、関わってくださった皆様、本当にありがとうございます。



## 境映

ゲーム&メディア学科 南本 衡太郎さん



#### コメント

この度は、このような評価をいただきありがとうございます。作品を制作していく中で、映像の境界をどのように表現するかということに何度も行き詰まったのですが、その度にご助言をいただいた由良先生に大変感謝しております。この経験を糧に、これからも映像を学び制作に取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございます。



## レーザーマッピング作品「光種」

ゲーム&メディア学科 石田 実蘭さん

### コメント

この度はこのような賞に選んでいただき、とても嬉しく思います。作品を作るにあたって、初の試みも多く、助けがいろいろあったりしたんですが、それを支えてくださった研究室の指導教員であるナガタ先生や、同じ研究室のメンバー、友達などに、感謝を伝えたいと思います。ありがとうございます。



## メディアデザイン部門賞 和田先生 講評

### ◆レーザーマッピング作品「光種」(ひかりだね) / 石田 実蘭

「命」をテーマに、フルカラーレーザーという新しい表現形式に挑戦した作品です。3DCGなども使いながら最適な映像表現を探り、技術面・表現面ともに高い完成度に到達しています。外部公募での選出実績も含め、挑戦と成果を評価しました。

### ◆境映(きょうえい) / 南本 衛太朗

目で見たものと、カメラを通して見たものの違いを、映像としてスタイリッシュに表現した作品です。テーマ設定として興味深く、映像としても良くまとめられている点を評価しました。

### ◆DIMENSIONS AND DISPLAY METHOD / 村林 虎

同じイラストを、サイズや媒体を変えて展開し、見え方の違いを体験として示した展示です。大判印刷の迫力と、グッズの身近さの両方を活かして、表現の可能性を広げています。ポップな色彩と躍動感のある表現も含めて評価しました。

### ◆AR技術を用いた、現実と仮想が融合したフィギュア制作 / 大槻 紘太郎

3Dプリントで制作したフィギュアにWebARを組み合わせて、空間全体へ世界観を拡張した意欲作です。ARの使いどころを整理した設計で、拡張現実ならではの体験を成立させています。立体とデジタルの融合を実現させた点を評価しました。

### ◆金剛力士像のデジタルクローンと現代美術の融合 / 折本 一輝

金剛力士像をデジタル再構築し、3Dプリントの立体と3DCGポスターの両方で提示した作品です。資料不足部分の補完や、史料に基づく彩色設計(さいしきせつけい)、造形上の課題への対応まで丁寧に積み上げています。文化財の魅力を「身近さ」と「迫力」で伝えた点を評価しました。

### ◆地元の色 ~local colors~ / 岩本 瑞歩

地元・大阪福島を路地裏まで取材し、膨大な素材を「色」という視点で整理して提示した作品です。展示方法にも工夫があり、取材の厚みと、選び抜く編集の力が作品の説得力につながっています。その点を評価しました。

### ◆かぎ針で編む 枯れない花 / 大西 輝美果

「消えゆくものを、手でとどめる」というテーマを、かぎ針編みを軸に冊子としてまとめた作品です。手を動かす行為から出発して、それをどう見せ、どう伝えるかをデザインとして整理しています。伝達の設計まで含めた完成度を評価しました。

### ◆魔法陣を用いたビジュアルエフェクトの操作 / 宇藤 雅人

創作における「魔法の構築」を、幾何学的な仕組みとして組み立て、直感的にエフェクトを作れる体験に落とし込んだ作品です。Unityを使用しWebGLで実際に動く形まで統合し、実用性と没入感の両方を成立させています。独創性の高さを評価しました。

### ◆ヒューマンビートボックス講座アプリ / 目崎 悠太

初心者がヒューマンビートボックスを体験しやすいように設計されたアプリです。作者自身の経験に根ざした発想が、内容と設計の説得力につながっています。体験の入口を丁寧に作った点を評価しました。

## ゲーム部門賞 気配斬り

デジタルゲーム学科 栗栖 祐大さん 岡田 大晟さん 井上 貴博さん

### 栗栖祐大さんのコメント

今回このような賞をいただき、本当にありがとうございます。こんな賞をもらったのも指導してくれた魚井先生やチームのメンバー、ゼミの協力してくれたメンバーにも本当に感謝しています。ありがとうございました。

### 岡田大晟さんのコメント

このような賞をいただけたことをありがたく思います。気配斬りをいかにデジタルゲームに落とし込むかということで挑戦したんですけど、今回いい感じで再現でき、このような賞につながったのかなと思います。本日は本当にありがとうございました。

### 井上貴博さんのコメント

本日はありがとうございました。



気配斬り

## 水中ブロック積み上げゲーム「積んでけサンゴ」

ゲーム&メディア学科 北村 卓己さん

### コメント

本日はこのような賞をいただくことができ、大変光栄に思っております。私の作品は、水中でプレイを行うという特殊で、今までにあまりない要素を活用して、大人から子どもまで、様々な年代の人が一緒に楽しめるようなゲームを作るという目標に制作してまいりました。制作する人数が僕一人だったので、いろんな人に手助けをしてもらいながら、森田先生に制作当初の相談に乗っていただいたり、またテストプレイでルールやゲームの難易度の調整を手伝ってくれたゼミのみんなや、また、このブロック自体を3Dプリンターで印刷してくださった本学の3D造形先端加工センターの職員の方々にもお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



水中ブロック積み上げゲーム「積んでけサンゴ」

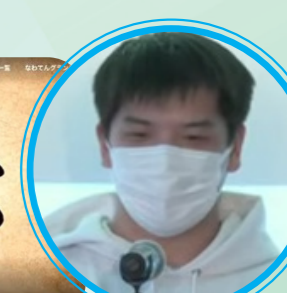
## AI盤双六 ゲーム&メディア学科 名和 朋寿さん

### コメント

本日はこのような賞をいただけて大変嬉しく思います。この作品が完成できたのは、協力してくれた方々だったり、指導してくれた方々、そしてこの盤双六に触れるきっかけを与えてくださった木子先生などの協力のおかげだと思っています。本日はありがとうございました。

# 盤双六

AI盤双六

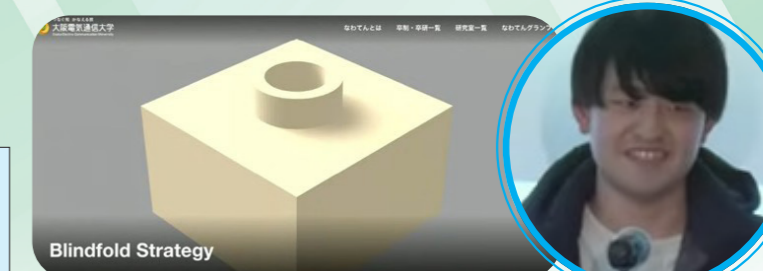


## Blindfold Strategy

ゲーム&メディア学科 中下 龍之介さん

### コメント

本日はこのような賞をいただきありがとうございます。ご指導いただいた木子先生と、卒業制作中ずっと通話をつないでくれていた同研究室の山田さんに感謝を申し上げます。ありがとうございました。



Blindfold Strategy



## 3Dゲームが苦手でも遊びやすいカジュアルな3Dアクションゲームの制作

デジタルゲーム学科 後藤 怜さん 松岡 優輝さん

ゲーム&メディア学科 伊藤 美海さん



3Dゲームが苦手でも遊びやすいカジュアルな3Dアクションゲームの制作

### 後藤怜さんのコメント

この度は、このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄です。この作品ですね、遊びやすいゲームを作るといったところもありまして、展示を非常に大切にしていまいりました。ですので、展示に向けてご指導くださった教員の皆様、サポートしてくれた仲間みんな、そして展示の際に試遊いただき、アンケートにご協力くださった方々、試遊して下さった方々、全ての方々に深く感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

### 松岡優輝さんのコメント

本日はこのような賞をいただき誠にありがとうございます。私はこのゲームでサウンドを担当させていただいたのですが、このゲーム、最初はすごく開発に難航して、私も活動できなかった部分があるんですが、最後このような賞をいただけたことに私自身すごく安心しております。これも頑張っで作成していただいたチームの皆さんやその他協力者の皆様のおかげでこのようなことができたと思っていますので、この場を借りて頭を下げたいと思います。本当に今日はありがとうございました。

### 伊藤美海さんのコメント

今回はこのような素晴らしい賞をいただきありがとうございます。私はこのゲームでグラフィッカー、主人公の3Dモデルと敵ボス（先ほど少しだけ映っている黒色のロボット）のモデルとプラスで背景と他のものをUIだっりのグラフィッカーをしております。私が作ったモデルは、これまで学んできたものの集大成、それと僕が好きなのをかき集めた景品の出来だと自負しておりますので、それがこのゲームとして登場し、しっかりと評価されたことが私にとってとても嬉しく思っております。このモデルたちのブラッシュアップのために、相談やご指導いただいた教員の方々にはとても深く感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

## 英文法学習アプリ「The Grammar Workshop」

デジタルゲーム学科 上田 小蒔さん 立石 大樹さん 弓場 遥陽さん



英文法学習アプリ「The Grammar Workshop」

### 上田小蒔さんのコメント

本日はこのようなものすごく大きい賞をいただきまして、本当に嬉しい気持ちでいっぱいでございます。皆さん、本当にありがとうございます。今回の作品、本当に出来栄が、自分で言うのもなんですけど、すごくいい出来栄がよくできたアプリを作ることができたのは、本当にご指導いただいた森先生と、チームメンバーのこの2人のおかげかなと思います。ありがとうございます。

### 立石大樹さんのコメント

今回はこのような賞をいただきありがとうございます。英文法の学習アプリなので、いかにして初学者とか苦手な人に対してわかりやすく伝えるかに、すごい試行錯誤したのですが、実際に塾の生徒さんとかにいろいろ触って意見もらったりして、最終的には結構、実際にも分かりやすいという意見とか感想とかもいただいて、いいものができたんじゃないかなと思っています。今回はありがとうございました。

### 弓場遥陽さんのコメント

このような賞をいただき、本当にありがとうございます。僕自身も、中学生の時に英語を勉強して苦勞していたので、自分がどのようにして、その苦手を克服していたのかという過程も考えながら、アプリにうまく取り込めることができたのかなと思っています。指導教員の森先生、および先輩、ももとのアプリの先輩方、及び同じチームメンバーに心より感謝を申し上げます。本日はありがとうございます。

## デジタルホラーハウス2025～異変の廊下～

デジタルゲーム学科 宮井 裕也さん 福田 悠人さん ヤブ ズー ギンさん



デジタルホラーハウス2025～異変の廊下～



### 宮井裕也さんのコメント

まずはこのような素晴らしい賞をいただきまして、誠に光栄だと感じております。ちょっと緊張してなかなか言葉も出ないんですが、まず僕代表者ということで出させてもらってますが、僕自身が代表者だとは感じておりません。3人で一緒に話し合っ、何度もいいものを作ろうと頑張ってきた結果だと考えております。

そして最後に指導をして下さった魚井先生、ループパラソルを作ってくれた先輩方、そしてテストプレイなどの様々な協力をして下さったゼミの仲間たちに感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。

### ヤブ ズー ギンさんのコメント

この卒業制作を通して、一人ではできないことも、チームで協力することで実現できると感じました。トラブルが起こった際にも、チームメンバーで支え合いながら対応できることが印象に残っています。ありがとうございます。

### 福田悠人さんのコメント

本日はこのような賞をいただけたことを、とても嬉しく思います。今回のチームでの制作において、チームだからこその意思疎通の難しさなどいろんな面に苦勞したことがありましたが、それ以上にチームでひとつのものを、完成させていくということと、完成したもので遊んだ際の達成感がとても良い経験になったと感じています。今回の経験を通じて自分がこれからどんどん成長していると感じています。本当にありがとうございました。

## ゲーム部門賞 魚井先生 講評

1つずつ、簡単に講評させていただきます。

まず、気配斬りなんです、気配斬りは去年はVRだったんですね。ですが、今年はちょっと原点に立ち戻って、本当に音だけで気配を感じて、切るということをいかにやってもらうかというのがあって、そこをすごく頑張ってもらったかなということがあります。実際そういう風にできるといことら辺が評価されたかなと思います。

続いて、積んでサンゴですが、こちらは、完全にアナログほくて、水の浮力を活かして、いかにどうやって積んだらうまくいくか、浮力だけでなく磁力も使っていて、いかに引っつけるかというところなんかすごく面白くて、積み上げたものがちゃんと珊瑚のモチーフになっていて、水槽とぴったりマッチしているところが独創性を感じられました。

A1盤双六なんです、盤双六のデジタル版っていうのはないんですね。実は似ているバックギャモンであるとかそういったものについてはあるわけですが、やはり、この手のボードゲームというのはちょっとルールが変わるとやはり全然違うものになってしまうということがあって、その部分を、プログラムの未経験者の学生が完全にノーコードとA1と対話して行って作っていくことをやって、ちゃんとできるものを作り上げたところが面白かったかなということ。また、プロンプトなんかもそこでやり取りをどうやってやるかというところの経験もたくさん得られたようです。こういうことができるっていうことは逆に古い資料がちゃんと残っているゲームであればそれをなんとか復活させることができるということを感じさせてくれたという点でも、評価の対象になりました。

次はBlindfold Strategyです。こちらは視覚に依存せずに遊べるという点で、視覚障害をお持ちの方であるとか、それだ

けでなくて目を瞑っても体験できるゲームというところで、簡単ではなくて結構難しいゲームなので、そこら辺がこれまでになかった、ごまかしじゃないようなちゃんとしたゲームを作り上げるという点でよくやっていたのかなという風に思いました。ブロックのデザインそのものも色々考えられていて、結構、ユニークさがあって良かったです。

また、レイヤドンは東京ゲームショウとかBitSummittに本当によく出してくれていて、ずっとずっとこう積み上げ積み上げてよくしていったという、デジタルゲーム学科らしい、作品としては典型例の1つだと思います。こちらがもう安心してこのゲームなら推せるという感じがするのが良かったと思います

続きまして、The Grammar Workshop です。英文法学習アプリということなのですが、ゲーミフィケーションの考え方をどうするかというところで、色々面白い試み、ユニークな試みを色々入れているのですが、1番私がいいなと思ったのは、実際にテストを何度も繰り返したということです。現場の、これを対象とするような、中学生にもって行って、意見をちゃんと聞いた、それを3回くらい繰り返しているの、その辺の努力がいいものに結びついたので、この辺の努力がいいものかという風に思います。

最後に、デジタルホラーハウス2025～異変の廊下～ですが、デジタルホラーハウスはもう12年続いているプロジェクトで、毎年ちょっとずつやっぱり変わっていくんですが、去年にやったループパラソルという、要するに、実際パラソルの中を回って動いているんだけど、なぜかまっすぐ動いているように感じるという手法。去年はその手法を使うまでに振り回された状況だったのが、今年はそれをかなり昇華して、その中にアトラクション的な要素をたくさん取り入れることに成功したという点で評価が高いかなと思います。実際にたくさん体験してもらってその辺について分かっていただけたのではないのでしょうか。

全体を通して、今年は本当に、審査に苦労した方だと思います。なぜかと言うと、もうちょっとで、賞をもらえるよなっという作品が結構あったんです。例えば、ゲームとしての質はいいんだけど着想はちょっと他にありがちとか、逆に着想はすごくいいんだけど、ゲームとしてはよくできてはないという2つですかね。どうしてもその両方とも良いという作品には負けてしまうところがあって、ちょっともったいなかったかなというところがあったかと思います。

先ほど和田先生もおっしゃった通り、これで終わりではありません。やはりここからが始まりということです。もちろんゲームを作るという点ではもうここで終わるのかもしれないんですけど、そうではなくて、作るために使った知識とか、経験とかいったものをこれから先の人生で、是非活かしていただきたいと思います。皆さんおめでとうございます。

## 総評 大西総合情報学部長

最後に総合情報学部長の大西克彦教授が、出展した学生に向けてメッセージを送りました。

「それぞれの作品が試行錯誤をしながら作られているのを垣間見ることができ、感銘を受けました。社会課題を解決したようなものや技術的な課題に果敢に取り組んだもの、また私には考えつかないような独創的なアイデアのものもあり、興味深かったです。なわてんではほかの学生がどんなものを作っているのかを知ることができます。学生同士の交流も生まれます。本学での卒業研究・制作はこれから生きていくうえできっと自信につながります。」と激励しました。



# CURRY days

後援会  
負担での実施!

カレーライス中サイズ

通常価格 ¥363(税込)

特別価格 ¥228(税込)



1回目: 4月22日(水) 2回目: 5月8日(金)

3回目: 6月3日(水) 4回目: 6月24日(水)

5回目: 7月15日(水) 6回目: 10月1日(木)

7回目: 10月28日(水) 8回目: 11月25日(水)

9回目: 12月2日(水) 10回目: 12月23日(水)

寝屋川キャンパス  
四條畷キャンパス  
生協食堂

# テクノフェア

in 新地町

## 実施報告



私たち大阪電気通信大学総合情報学部と工学部の学生有志たちは、福島県新地町を訪問し、現地の子どもたちを対象とした映像および科学体験ワークショップを2日間実施しました。新地町は東日本大震災によって甚大な津波被害を受けた地域であり、現在は着実な復興が進んでいます。しかし、実際に現地を訪れてお話を伺う中で、都市部に比べると子どもたちが最新の科学技術やデジタル表現、あるいは実験を通じた創作の場に直接触れる機会がまだ限られているという現状を知りました。そこで私たちは、大学の授業で日々格闘している映像技術や科学的な知見を「遊び」の形に変換して提供し、子どもたちが自分自身の力で新しい表現や現象を生み出す喜びを体験してもらうことを目的として活動を行いました。

### 時間よ戻れ (由良研究室)

映像の「逆再生」という手法を用いた不思議な体験です。撮影した映像をその場で逆転させて再生することで、投げた物が魔法のように手に戻ってきたり、床に散らばった積み木が一瞬で元通りに組み上がったりの光景を作り出します。物理法則に反するこの不思議な現象は、子どもたちにとって非常に新鮮だったようで、モニターに映し出される映像を見るたびに身を乗り出して驚く姿が見られました。



### コマ操りアニメーション (由良研究室)

粘土や人形を用いたアニメーションの制作です。これは一コマ撮っては少し動かすという地道な作業ですが、ここでも子どもたちの創造力が爆発しました。私たちが用意したサンプルを参考にだけでなく、子どもたちは手元にある道具を自由自在に組み合わせ、自分たちだけのストーリーを組み立てていきました。中には三十分以上も集中し数百枚の撮影を続け、壮大な物語を完成させた子もいました。根気強く自分の頭の中にあるイメージを形にしていくその姿は、単なる遊びを超えた「クリエイター」そのものでした。



### 3D影絵 (由良研究室)

光と影を利用したワークショップでは、より直感的な表現に挑戦しました。日用品やおもちゃに光を当て、壁に映し出された巨大な影をビルや鉄塔などに見立てて「影の街」を作りました。普段はただの道具として見ている洗濯ばさみや積み木などが、光の角度によって全く異なる巨大な建造物のように見えるという発見に、子どもたちは夢になっていました。「この影、本物のビルみたいだ!」と興奮しながら、影同士を組み合わせる新しい景色を作っていく様子は、日常の中にある「視点の換え方」を学んでいるようでもありました。



### ライトアート (由良研究室)

切り絵や水に光を壁に投射して、壁面に映し出された光と影を背景にして子どもたちを撮影することで、印象的な写真の表現になりました。撮影した写真は、その場でプリントして配布したのですが、プリンターの前には行列が出来ました。



### なりきり Vtuber その2 (由良研究室)

オリジナルの3Dキャラクターを用いたVTuberの体験コーナーも設置しました。画面の中のキャラクターが自分の体の動きに合わせて動く様子に、子どもたちは最初こそ不思議そうにいましたが、すぐに仕組みを理解してダンスをしたり大きく手を振ったりして全力で遊んでいました。これらデジタル技術が単に画面の中だけで完結するものではなく、自分自身の身体と繋がっているという感覚は、子どもたちにとって新しい驚きだったはず。



### スライムをつくってあそぼう! (森田研究室)

洗濯のりとホウ砂を混ぜ合わせることで、液体が次第に粘り気を持ち、特有の感触に変化していく過程を体験しました。子どもたちは好きな色を選び、自分だけの色鮮やかなスライムを完成させました。ただ作るだけでなく、どれだけ伸びるか、手の上でどのような形に変わるかといった物質の特性を楽しみながら学ぶ姿が見られ、化学反応の面白さを肌で感じる機会となりました。



### 「人工いくら」って作れる? いろんな色のつぶつぶを作ってみよう (齊藤研究室)

アルギン酸ナトリウムと塩化カルシウムの反応を利用し、スポイトから色とりどりの液体を一滴ずつ落とすと、水中で一瞬にして小さな粒へと姿を変えます。子どもたちは、キラキラと光りながら沈んでいくカラフルな粒を宝石のようにきれいに眺めながら、熱心に作り続けていました。子どもたちは自分なりに工夫を凝らしながら、コップの中に溜まっていく色鮮やかな粒を嬉しそうに確認している姿が非常に印象的でした。



### 液晶オパールをつくってみよう

#### (ラボラトリーワークグループ大阪代表高野先生)

特定の材料を混ぜ合わせることで、角度によって虹色に輝く液晶の特性を観察するものです。完成した「オパール」が光を反射してキラキラと輝く様子を見た子どもたちはわくわくしながら眺めていました。光の干渉という物理現象を、視覚的に美しい「作品」として持ち帰ることができるこの実験は、科学への興味を深める強いきっかけとなりました。



今回最も大変だったのは、子どもたちの凄まじい「エネルギー」と「発想のスピード」に対応することでした。彼らは思いついたアイデアを躊躇なく形にしようとします。そのスピードに遅れないよう機材や実験器具を調整し、遊び方を分かりやすく説明しながら、同時に自分たちも全力で一緒に遊ぶことには、予想以上の体力が必要でした。

また、活動の合間に過ごした新地町での時間は、私自身の町に対するイメージを大きく変えてくれました。訪問前はどこか「被災地」という言葉の重さに緊張していましたが、実際に会った新地町の方々には非常に温かく、私たちを優しく迎え入れてくださいました。地元の方に教えていただいた飲食店で食べた料理は本当に美味しく、豊かな食文化を知るきっかけにもなりました。復興したこの町で力強く、そして穏やかに生きる人々のエネルギーを感じることができ、私たちが元気をいただいたような気持ちになりました。

今回のワークショップを通して、映像技術や科学実験には単に知識を伝えるだけでなく、人と人を繋ぎ、その場の空気を一瞬で明るくする力があることを再確認しました。自分が持っている知識や技術が、誰かの笑顔や真剣な眼差しに直結するという体験は、大学の講義だけでは得られない、何物にも代えがたい貴重な経験となりました。

映像も科学も、最初は「なぜ?」という驚きから始まり、試行錯誤を経て「自分の形」にしていくプロセスは共通しています。この三日間で得た学びや、子どもたちからもらった純粋な熱量を忘れずに、これからの自分自身の制作活動や、現在取り組んでいる就職活動にもしっかりと活かしていきたいです。最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった新地町の皆様、そして多大なるご協力をいただいた新地町教育委員会、後援会の皆様へ心より感謝申し上げます。

文責：星野 悟琉



## 物価高

### 情報学科 3年母

サラダは野菜で市販のドレッシングは量が少なく値段が高いように思う(業務用のドレッシングがオススメ!)。少量だけサラダにドレッシングをかけてみてもサラダのみずみずしさに味が薄まるとドレッシングをかけた意味がない。自分で味の濃厚なドレッシングをたっぷり作ってみる、そして完全に野菜用水切りミキサーで野菜の水気をきってみようと思うと、ドレッシングの要らない野菜サラダが食べたいし食べさせたいと思い始めて「サラダスティックで良いんじゃないか?」大根人参胡瓜かな? だけど葉物野菜が傷みやすいからスーパーのサービスコーナーから野菜を選んでみる。今日も水気の混じったサラダにドレッシングが、お皿に残ってしまうとトマトが安ければ冷蔵庫で冷やしたガスパチョも美味しいけどなあ。家族の健康と子供の成長を毎日願う。

## ～息子の成長に思うこと～

### 情報工学科 卒業生母

思えばもう4回生。桜の満開の中、入学式に向かうスーツ姿の息子を送り出した事を鮮明に思い出します。未っ子で甘やかされて育てられ、在学中はいつ「大学を辞める」と言い出すのか、ハラハラしていました。息子は文系に進みたかったのですが、「特に目標もないなら理系が良いんじゃない? 電通なら自宅から通えるよ!」と安易な説得をして、入学したからです。親の心配をよそに、息子は淡々と授業を受け、単位も着々と取得、送られてくる成績表を見ると、なんとよく頑張っている!! 「よく頑張っているね。」と言うと、「うん。僕にも成績表見せて。」と。小さい頃から可愛がってくれている妹夫婦にも成績表を見せ、見守り続けました。大阪電気通信大学から我が家は近く、コロナでオンライン授業の時は、仲の良い同級生たちがリビングに

集まり一緒に課題をすることも。礼儀正しく、笑顔の素敵な仲間たち。

その後も次の授業までの空き時間に来る事もあり、楽しそうに過ごしていました。

尊敬する教授にも出会え、卒論を通じ、人生において大切な、くまなくいかない時の乗り越え方も学んでくれた事でしょう。

口下手な息子なりに大学生活は楽しいと話してくれていた事が、親としては何より嬉しく思います。

たくさんの人に頭を下げながら育てて来た息子もいよいよ社会人。

あなたなら大丈夫。大学で学んできた経験があなたを助けてくれます。勉学を共にした仲間と共に羽ばたいていく姿を楽しみにしています。

## 息子の居場所

### デジタルゲーム学科 卒業生母

「どこの大学に行ったかじゃない、大学で何をしたかが重要なんや」

息子が3回生の時、希望する大学を悩んだ高3の妹へアドバイスした言葉である。

小さいころから「オリジナルのモノ」を作るのが好きだった息子。中学までは目立たなかった息子が、高校ではプログラムを学び一躍クラスの中で秀でた存在となった。

自信がついたのか、大学に進学してからは様々なことに挑戦し、数多くの体験をさせていただき、同時に多忙な毎日で、朝から夜遅くまで学校で過ごすことも多々あった。

そこで冒頭の言葉が出てきたのである。大学でとても濃い時間をすごした息子の、説得力に満ちた言葉だった。

電通大は「オタクがオタクでいられる場所」だと思う。こう書くと語弊があるが、「好きなものに堂々と熱中できる場所」と言えばいいだろうか。

息子を受け入れてくれた先生方、支えてくれた友達や仲間たち、この環境のおかげで息子は大きく成長することができたと思うと感謝の気持ちしかない。

「大学は自分から学びに行ったもの勝ち」だと息子は言う。娘もその兄の姿を見習うように、学生生活を送っている。子どものほうが生き方をわかっているようにさえ思え、誇らしく思う気持ちと、同時に自分の学生時代を振り返り、いかに受け身な人生だったかを省みるのであった。

## 今日もきっと、あたたかい日

### 建築・デザイン学科 1年母

大阪電気通信大学が、地域や社会のために役立つ取り組みを続けていることを知るたびに、母親として「こんな素敵な大学で子どもが学んでいるんだ」と心から誇らしく感じます。大学が大切にしている「手・頭・心を動かす実践的な学び」や「学生起点で寄り添う姿勢」、そして地域社会へ真摯で温かな形で貢献されている大学の姿を見ると、胸の奥が静かにあたたかくなります。子どももその方針のなかで、一つひとつ気づきを得ながら、少しずつ前向きに成長している様子が伝わってきます。もうすぐ2年生を迎えるにあたり、「次はもっと頑張りたい」という気持ちが、自然と子どもの中に芽生えているようです。あまり多くを語るタイプではありませんが、ふとしたひと言の中に、自分の目標へ一歩踏み出そうとする決意がにじんでいて、母として本当に嬉しくなります。学生一人ひとりの力を大切に伸ばし、将来社会で活躍できる姿へと導こうとさせていただきます。このあたたかな環境の中で、2年生になる子どもがさらに輝いてくれるよう、これからもそっと見守りながら応援していきたいと思います。



# クラブ活動紹介



後援会はクラブ活動に支援・功労サークルに対する援助を行っております。  
大学のクラブ活動をご紹介します。

## 強化指定クラブ



硬式野球部



女子バスケットボール部



バレーボール部



OECU eSports

## 体育系



ソフトテニス部



合気道部



弓道部



スキー部



柔道部



バドミントン部



剣道部



ハンドボール部



少林寺拳法部



軟式野球部



サッカー部



卓球部



男子バスケットボール部



陸上競技部



フットサル部



自動車部



空手道部



硬式庭球部



サイクリング部

## 文化系



吹奏楽団



電子計算組織研究会



軽音楽部



文道部



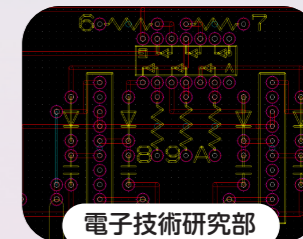
ギターマンドリンクラブ



デザインコミュニケーション部 WAVE



SF研究会



電子技術研究部



ストリート部



放送研究会



Photo部



通信研究会



奇術愛好会



音響研究会



美術部



映画研究会



ボランティア同好会



管弦楽団

■ ホームページより抜粋  
■ 詳しくは [大学HP](#) [キャンパスライフ](#) をご覧ください。

# たくさんの表紙デザイン応募ありがとうございました

後援会たより（2026年春号・秋号）の表紙は厳選なる選考のうえ、下記作品に決定しました。  
 たくさんのご応募ありがとうございました。

## ★ 2026年春号(今回) ★

## ★ 2026年秋号 ★



デジタルゲーム学科 笠井斗輝央さん



ゲーム&メディア学科 蓮池昭太さん



情報学科  
保護者



ゲーム&メディア学科  
夏目祐唯さん



ゲーム&メディア学科  
近藤唯斗さん



ゲーム&メディア学科  
河部真実さん



ゲーム&メディア学科  
矢倉梨沙さん



ゲーム&メディア学科  
大坪楓嶺さん



ゲーム&メディア学科  
吉本晃洋さん



ゲーム&メディア学科  
大下修一朗さん



ゲーム&メディア学科  
松田綾乃さん



ゲーム&メディア学科  
松本貴宏さん



ゲーム&メディア学科  
益満陽李さん



ゲーム&メディア学科  
大場琴未さん



ゲーム&メディア学科  
田中碧さん



ゲーム&メディア学科  
木本正親さん



ゲーム&メディア学科  
河内山陽斗さん



ゲーム&メディア学科  
大山奏葉さん



ゲーム&メディア学科  
境穂乃里さん



ゲーム&メディア学科  
那須啓太さん



ゲーム&メディア学科  
淵端美貴さん



ゲーム&メディア学科  
水野啓吾さん



ゲーム&メディア学科  
三浦聡一郎さん



ゲーム&メディア学科  
難波江菜奈さん



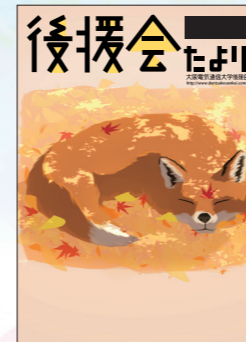
ゲーム&メディア学科  
大村一輝さん



デジタルゲーム学科  
保護者



デジタルゲーム学科  
保護者



デジタルゲーム学科  
笠井斗輝央さん



ゲーム&メディア学科  
久我晋也さん



デジタルゲーム学科  
各務隼人さん



ゲーム&メディア学科  
前田佳音さん



ゲーム&メディア学科  
門脇早友充さん



ゲーム&メディア学科  
門脇早友充さん



# 大学への問い合わせ・キャンパス案内図

学生生活についてのご相談は遠慮なくお申し出ください。担当部署は次のとおりです。

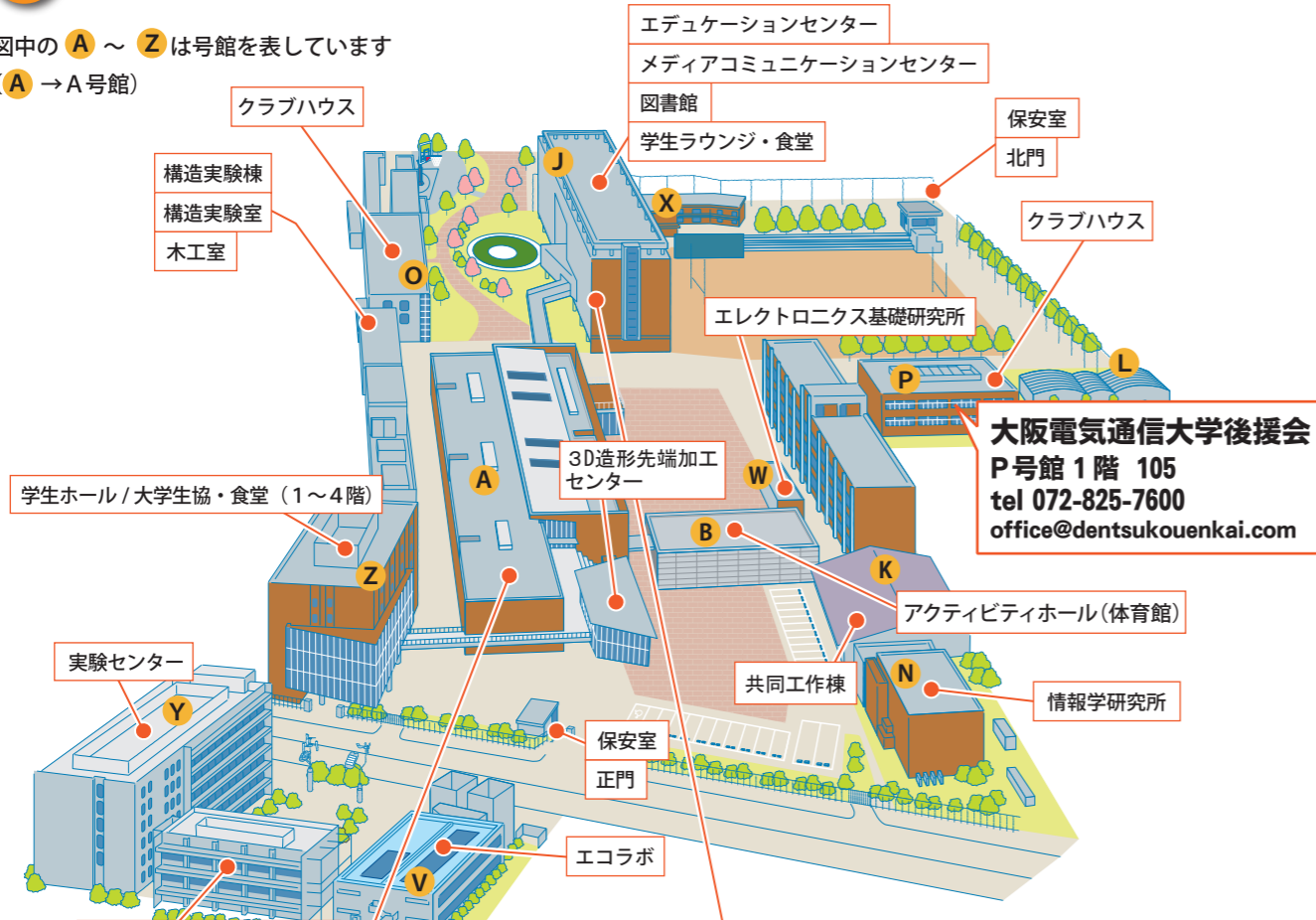
## 寝屋川キャンパス

〒572-8530 寝屋川市初町18-8 TEL 072-824-1131 (代)

- 学部**
- 工学部** ⑥電気電子工学科 ⑧電子機械工学科 ①機械工学科 基礎理工学科 (⑨数理科学専攻/⑩環境化学専攻) ③建築学科
  - 情報通信工学部** ⑭情報工学科 ⑮通信工学科
  - 建築・デザイン学部** 建築・デザイン学科 (④建築専攻/⑤空間デザイン専攻)

**大学院** **工学研究科** 工学専攻 (先端理工学コース, 電子通信工学コース, 制御機械工学コース, 情報工学コース, 建築学コース)

図中の A ~ Z は号館を表しています  
(A → A号館)



大阪電気通信大学後援会  
P号館 1階 105  
tel 072-825-7600  
office@dentsukouenkai.com

相談事項	担当部署
ココロのこと, からだのこと, 対人関係のこと, 学修・進路のこと, 特に悩みはないけれど, もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター (J号館 6階)

OECUIノベーションスクエア (A号館)	
相談事項	担当部署
教育課程, 履修登録, 授業, 試験, 成績, 進級, 卒業, 欠席届, 転科願, 転部願, 成績関係の証明書及び卒業証明書の発行, クラブなど課外活動, 奨学金制度, 下宿, アルバイト, 学生の身体状況, 休学・退学の願い出, 学費延納願, 保証人変更届, 住所変更届, 在学証明書, 学割, 健康診断証明書の発行等に関する事	寝屋川学務課
海外留学 (オンラインプログラムを含む), 留学生と在学生との交流に関する事	国際交流センター
就職に関する事	キャリアセンター寝屋川オフィス
課外講座に関する事	資格学習支援センター
学費に関する事	会計課
大学院入学試験及び編入学試験に関する事	入学センター

## 四條畷キャンパス

〒575-0063 四條畷市清滝 1130-70 TEL 072-876-3317

- 学部**
- 医療健康科学部** ⑬医療科学科 ⑭理学療法学科 ⑤健康スポーツ科学科
  - 健康情報学部** 健康情報学科 (⑬医療工学専攻/⑭理学療法学専攻/⑤スポーツ科学専攻)
  - 総合情報学部** ⑯デジタルゲーム学科 ⑰ゲーム&メディア学科 ⑩情報学科  
デジタルゲーム学科 (2026年~) ⑱デジタルゲーム専攻/⑰ゲーム&メディア専攻/⑩ゲーム・社会デザイン専攻

**大学院** **医療福祉工学研究科** 医療福祉工学専攻  
**総合情報学研究科** 総合情報学専攻 (デジタルアート・アニメーション学コース, デジタルゲーム学コース, コンピュータサイエンスコース)

図中の 1 ~ 12 は号館を表しています  
(1 → 1号館)



四條畷キャンパス (1号館)	
相談事項	担当部署
教育課程, 履修登録, 授業, 試験, 成績, 進級, 卒業, 欠席届, 転科願, 転部願, 成績関係の証明書及び卒業証明書の発行, クラブなど課外活動, 奨学金制度, 下宿, アルバイト, 学生の身体状況, 休学・退学の願い出, 学費延納願, 保証人変更届, 住所変更届, 在学証明書, 学割, 健康診断証明書の発行等に関する事	四條畷学務課
学費に関する事	学事・会計課
就職に関する事	キャリアセンター四條畷オフィス
課外講座に関する事	資格学習支援センター
ココロのこと, からだのこと, 対人関係のこと, 学修・進路のこと, 特に悩みはないけれど, もっと自分の性格について知りたいというとき	総合学生支援センター

## 大阪電気通信大学後援会規約

(名 称)  
第1条 本会は大阪電気通信大学後援会と称する。  
(目 的)  
第2条 本会は大阪電気通信大学、同大学院博士課程(前期)(以下「大学」という。)と家庭との連絡を密にし、教学の使命達成に協力するとともに大学の発展向上に寄与することを目的とする。  
(事 業)  
第3条 本会は前条の目的達成のため次の事業を行う。  
(1) 学生の福利厚生に対する援助  
(2) 学生の就職に対する協力援助  
(3) 教育上必要な施設及び研究に対する援助  
(4) 教育上必要な家庭との連絡  
(5) その他、本会に必要と認めた事業  
2 前項の援助に関する必要事項は別に定める。  
第4条 本会は事務局を大阪電気通信大学内におく。  
2 本会の事務処理は大学事務局に委嘱することができる。  
(支 部)  
第5条 本会に支部をおくことができる。  
2 支部についての細則は別に定める。  
(会 員)  
第6条 本会の会員は次のとおりとする。  
(1) 正会員 大学に在籍する学生の保証人  
(2) 特別会員 本会の趣旨に賛同し、これに協力援助を希望する者  
(役 員)  
第7条 本会に次の役員をおく。  
会長1名、副会長2名、会計1名、常任幹事1名、幹事及び学内幹事(大学の教職員の中から選任される役員をいう。)若干名、会計監査2名  
(役員を選任)  
第8条 本会の役員は総会において選任する。ただし、常任幹事及び学内幹事は、次項に定めるところによる。  
2 学内幹事は、副学長、学部長、共通教育機構長、大学事務局学事部長、学務部長、学務部事務部長、キャリアセンター部長、大学院代表、四條囃事務部長、学務部次長、キャリアセンター次長、入学センター次長、学事課長及び会長が委嘱する教職員とする。  
3 常任幹事は、大学事務局長に委嘱する。  
(役員任期)  
第9条 本会の役員任期は1年とし、留任を妨げない。  
(役員職務)  
第10条 役員職務は次のとおりとする。

(1) 会長は本会を代表し、会務を総括する。  
(2) 副会長は会長を補佐し、会長不在又は事故あるときはその職務を代行する。  
(3) 常任幹事は会長の委任を受けて、本会の事業の企画立案及び運営にあたる。  
(4) 幹事及び学内幹事は本会の運営その他、会務推進について意見を具申する。  
(5) 会計は本会の会計事務を処理する。  
(6) 会計監査は本会の会計を監査する。  
(顧 問)  
第11条 本会は必要に応じて若干名の顧問をおくことができる。  
2 顧問は役員会又は役員の求めに応じて会の事業への助言又は協力を行う。  
3 顧問は役員会において選任し、総会において承認を受けるものとする。  
4 顧問の任期は1年とし、1回に限り再任を認める。  
5 顧問は総会、役員会に出席するが議決には加わらない。  
(相談役)  
第12条 本会は必要に応じて若干名の相談役をおくことができる。  
2 相談役は役員会又は役員の求めに応じて会の事業への助言又は協力を行う。  
3 相談役は役員会で委嘱する。  
4 相談役の任期は1年とし、1回に限り再任を認める。  
5 相談役は特に必要のない限り、総会、役員会へは出席しない。  
(総 会)  
第13条 定期総会は、年1回開催し、会長が議長となり、議長の開会宣言をもって総会の成立とする。  
2 総会では、事業計画、予算、決算、役員選任及びその他必要事項についての承認を受けるものとする。  
3 会長が必要と認めるとき、又は会員の5分の1以上の請求があったときは、臨時総会を開くものとし、会長が議長となる。  
4 議決は、出席者の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長がこれを決する。  
5 災害、感染症の流行等で総会が開催できない場合は、前年度役員が第2項に定める事項を決定する  
(役員会)  
第14条 役員会は必要に応じ随時開催し、事業計画の具体的推進について審議する。  
(収 入)  
第15条 本会の収入は、会費及びその他の寄付金をもって充当する。  
2 大学各学部の会員の会費は入学時

に20,000円を徴収する。  
3 大学院の会員の会費は10,000円とし、入学時に徴収する。  
4 大学各学部へ編入学した会員については編入学時に10,000円を徴収する。  
(年 度)  
第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わるものとする。  
(改 廃)  
第17条 この規約は、総会の議決により改正することができる。

附 則  
この規約は、平成30年8月4日から改訂・施行する。  
附 則  
この規約は、平成30年10月13日から改訂・施行する。  
附 則  
この規約は、2019年5月18日から改訂・施行する。  
附 則  
この規約は、2019年12月7日から改訂・施行する。  
附 則  
この規約は、2020年5月30日から改訂・施行する。  
附 則  
この規約は、2025年4月1日から改訂・施行する。

## 大阪電気通信大学後援会 見舞金内規

(弔慰の場合)  
1. 会員または会員の配偶者が死亡した場合  
弔慰金 30,000円・楮1対・弔電(後援会名)  
2. 学生が死亡した場合  
弔慰金 30,000円・楮1対・弔電(後援会名)  
3. 大学の教職員および教職員の配偶者・父母・子女が死亡した場合  
弔電(後援会名)  
(災害見舞の場合)  
会員の住居(学校へ届出の現住所)等が災害のために損害を受けたとき、次の通り災害見舞金を贈る。  
1. 住居が全壊・全焼したとき30,000円  
2. 住居が半壊・半焼したとき20,000円  
3. 床上浸水したとき10,000円

## 大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用規程

(目 的)  
第1条 この規程は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の学生で、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与して、学業を継続させることを目的とする。  
(名 称)  
第2条 前条の学資を大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金(以下「奨学金」という。)といい、奨学金の貸与を受ける者を大阪電気通信大学貸与奨学生(以下「奨学生」という。)という。  
(財 源)  
第3条 本奨学金は、大阪電気通信大学後援会(以下「後援会」という。)及び一般社団法人大阪電気通信大学友電会(以下「友電会」という。)から拠出された出資金並びに有志の寄付金を財源とする。  
(委員会)  
第4条 奨学生の選考及び奨学金に関する諸事項を審議するため、大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金委員会(以下「委員会」という。)を置く。  
2 委員会は、次の者をもって組織する。  
(1) 学務部長、及び学務部事務部長又は学務部次長  
(2) 後援会より選出された者 若干名(内1名を会計監査人とする。)  
(3) 友電会より選出された者 若干名(内1名を会計監査人とする。)  
3 委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。  
4 委員長は学務部長とする。  
5 委員会は必要により委員長が招集する。  
(奨学金の貸与を受ける者の資格)  
第5条 奨学金の貸与を受けることができる者は、大阪電気通信大学及び大阪電気通信大学大学院の在学学生で、次の条件を満たしている者とする。  
(1) 学資支弁が困難な者  
(2) 人物、学業成績とも良好な者  
(奨学金の額と利息)  
第6条 奨学金の額は半期分の学費相当額とする。  
2 貸与した奨学金には利息を付さない。ただし、返済を怠った際の取扱いについては第15条に定めるところとする。  
(貸与期間)  
第7条 奨学金を貸与する期間は、本学に在籍している期間内とする。  
(返済方法)  
第8条 奨学金の返済方法は、次の通りとする。  
(1) 返済は、貸与の終了した年度の翌年度から年賦返済とし、5年内に全額を返済する。  
(2) 1年間の返済額は、原則として

貸与額の2割とする。  
(3) 毎年の返済期限は、12月20日とする。  
2 奨学金の返済を怠ったときは、返済期限の到来前に未返済金の全額を一括返還するよう請求し、強制執行の手続きを講じることができる。  
(奨学金の申請)  
第9条 奨学金の貸与を希望する者は、次の各号の書類を委員会に提出しなければならない。  
(1) 奨学生申請書  
(2) 成績証明書  
(3) 本人及び連帯保証人の経済状況を証明するもの  
2 奨学生の募集は、随時受付を行う。

(審査及び決定)  
第10条 委員会は前条で提出された内容を審議し、奨学生としての採否を決定する。  
2 委員会は、前項の採否の結果について当該申請者に通知する。  
(金銭消費貸借契約)  
第11条 奨学生として採用された者は、所定の金銭消費貸借契約を締結しなければならない。  
2 前項の金銭消費貸借契約は、連帯保証人2名の連署を必要とし、1名は保護者又はそれに準ずる者とし、もう1名は本人と別生計の保証能力のある者とする。

(異動の届出)  
第12条 奨学生又は奨学生であった者が、次の各号のいずれかに該当するときは、直ちに委員会に届出なければならない。  
(1) 本人又は連帯保証人の氏名、住所、電話番号、その他重要な事項の変更  
(2) 休学又は退学  
(3) 卒業等、本学に在籍しなくなったから以降の進路先  
(貸与の停止)  
第13条 委員会は、奨学生が次の各号のいずれかに該当するときは、奨学金の貸与を停止することができる。  
(1) 退学したとき、又は退学若しくは除籍の処分を受けたとき  
(2) 提出書類に虚偽の記載があったとき  
(3) 奨学生として学業成績不良、又はふさわしくない行為があったとき  
(4) 停学の処分を受けたとき  
(5) 奨学金を必要としなくなったとき

2 前項第2号により奨学金の貸与を停止されたときは、遅滞なく奨学金の全額を返還しなければならない。

平成13年4月1日制定  
最近改正 2022年4月29日

(返済猶予)  
第14条 委員会は、奨学生であった者が、本学の大学又は大学院に引き続き入学した場合、その他正当な事由によって奨学金の返済猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。  
2 前項の場合、委員会は、改めて奨学金の返済について指定し、本人はその指定に従わなければならない。  
(延滞金)  
第15条 奨学生であった者が、正当な理由なく奨学金の返済を怠ったときは、年5%の延滞利息を徴することができる。  
(返済免除)  
第16条 委員会は、次の各号のいずれかに該当することにより、奨学金の未返済額の全部又は一部について返済不能となったときは、本人又は連帯保証人の願い出によって、その全部又は一部の返済を免除することができる。  
(1) 奨学生又は奨学生であった者が死亡したとき  
(2) 奨学生又は奨学生であった者が身体の障害等を持つに至ったとき  
(会計監査)  
第17条 会計年度は4月1日から翌年の3月31日までとする。  
2 前項の会計年度に係る決算終了後、会計監査を経て委員会に報告する。  
3 監査人は、後援会及び友電会よりそれぞれ選出された者とする。  
(所管)  
第18条 この規程に関する事務は、学務部において行う。  
(改廃)  
第19条 この規程の改廃は、委員会において審議及び決定するものとする。

附 則  
1 この内規は、平成13年4月1日から施行する。  
2 大阪電気通信大学「後援会・友電会」貸与奨学金規則は、廃止する。  
附 則  
この規程は、平成27年4月1日から施行する。  
附 則  
この規程は、平成30年10月1日から施行する。  
附 則  
1 この規程は、2022年4月29日から施行する。  
2 大阪電気通信大学後援会・友電会貸与奨学金運用細則(平成13年4月11日制定)は、廃止する。

2 前項第2号により奨学金の貸与を停止されたときは、遅滞なく奨学金の全額を返還しなければならない。



# 2026年度 後期 行事予定表

大学院 (工学研究科 / 医療福祉工学研究科  
総合情報学研究科)

## 大阪電気通信大学学歌

作詞 片岡幸彦  
作曲 鎌田廉平

(1) なにわのひーがーしよどがわーにし  
げれるわかきわれらあーしお  
おーおーさか でんきつう しんだいがく きょう  
ー ー でんしのたんきゅうにきわめんみち  
のほこりはたかしほこりはたかしお  
おーおーさか でんきつう しんだいがく

一 浪速の東淀川に  
茂れる若きわれら葦  
おお大阪電気通信大学  
今日電子の探求に究めん道の  
誇りは高し誇りは高し  
おお大阪電気通信大学

二 稲穂波立つ河内野に  
ゆうゆう高き鉄塔よ  
おお大阪電気通信大学  
われら時代の先端を荷負う未来に  
責任重し責任重し  
おお大阪電気通信大学

三 宇宙をひらくわれら意気  
世界にひびくその名こそ  
おお大阪電気通信大学  
愛と真理と理想とに明日の平和の  
門を開かん門を開かん  
おお大阪電気通信大学

10月	1(木)	創立記念日 (授業日)
	12(月・祝) スポーツの日	授業日
	17(土)	補講日
11月	3(火・祝) 文化の日	授業日
	21(土)	補講日
	23(月・祝) 勤労感謝の日	授業日
	28(土)	補講日
12月	30(月)	12月期学位授与者発表 (院)
	11(金)	12月期学位授与式
	19(土)	補講日
	25(金)	後期授業終了
1月	27(日)~2027/1/5(火)	冬季一斉休業
	6(水)	補講日
	7(木)~8(金)・13(水)~15(金)	後期定期試験
	12(火)	振替休日 (11/3 授業実施に伴う振替)
2月	20(水)~22(金)	後期追試験
	6(土)~7(日)	なわてん <予定>
	15(月)~16(火)	成績発表
3月	22(月)	振替休日 (11/23 授業実施に伴う振替)
	26(金)・3/1(月)~2(火)	卒業再試験
	6(土)	教育懇談会
3月	8(月)	大学院入学試験
	11(木)	成績発表
	19(金)	学位授与式





## 後援会 たより No.56 春

2026（令和8）年5月10日発行

編集発行：大阪電気通信大学後援会

〒572-8530 寝屋川市初町18-8（P号館 1階 105室）  
TEL 072-825-7600

<https://www.dentsukouenkai.com/>  
E-mail : [office@dentsukouenkai.com](mailto:office@dentsukouenkai.com)

印刷：共同プリント株式会社

